

創世記 20:17 そこで、アブラハムは神<かみ>に祈<いの>った。神<かみ>はアビメレクとその妻<つま>、および、はしためたちをいやされたので、彼<かれ>らはまた子<こ>を産<う>むようになった。

出エジプト記 15:26 そして、仰<おお>せられた。「もし、あなたがあなたの神<かみ>、【主<しゅ>】の声<こえ>に確<たし>かに聞<き>き従<したが>い、主<しゅ>が正<ただ>しいと見<み>られることを行<おこな>い、またその命<めい>令<れい>に耳<みみ>を傾<かたむ>け、そのおきてをことごとく守<まも>るなら、わたしはエジプトに下<くだ>したような病<びょう>気<き>を何<なに>一つあなたの上<うえ>に下<くだ>さない。わたしは【主<しゅ>】、あなたをいやす者<もの>である。」

出エジプト記 20:12 あなたの父<ちち>と母<はは>を敬<うやま>え。あなたの神<かみ>、【主<しゅ>】が与<あた>えようとしておられる地<ち>で、あなたの齢<よわい>が長<なが>くなるためである。

出エジプト記 23:25 あなたがたの神<かみ>、【主<しゅ>】に仕<つか>えなさい。主<しゅ>はあなたのパンと水<みず>を祝<しゅく>福<ふく>してくださる。わたしはあなたの間<あいだ>から病<びょう>気<き>を除<のぞ>き去<さ>らう。

出エジプト記 23:26 あなたの国<くに>のうちには流<りゅう>産<ざん>する者<もの>も、不<ふ>妊<にん>の者<もの>もいなくなり、わたしはあなたの日<ひ>数<かず>を満<み>たそう。

レビ記 26:3 もし、あなたがたがわたしのおきてに従<したが>って歩<あゆ>み、わたしの命<めい>令<れい>を守<まも>り、それらを行<おこな>うなら、

レビ記 26:4 わたしはその季<き>節<せつ>にしたがってあなたがたに雨<あめ>を与<あた>え、地<ち>は産<さん>物<ぶつ>を出<だ>し、畑<はたけ>の木<き>々<ぎ>はその実<み>を結<むす>び、

レビ記 26:5 あなたがたの麦<むぎ>打<う>ちは、ぶどうの取<と>り入<い>れ時<どき>まで続<つづ>き、ぶどうの取<と>り入<い>れ時<どき>は、種<たね>蒔<ま>きの時<どき>まで続<つづ>く。あなたがたは満<み>ち足<た>りるまでパンを食<た>べ、安<やす>らかにあなたがたの地<ち>に住<す>む。

レビ記 26:6 わたしはまたその地<ち>に平<へい>和<わ>を与<あた>える。あなたがたはだれにも悩<なや>まされずに寝<ね>る。わたしはまた悪<わる>い獣<けもの>をその国<くに>から除<のぞ>く。剣<つるぎ>があなたがたの国<くに>を通<とお>り過<す>ぎることはない。

レビ記 26:7 あなたがたは敵<てき>を追<お>いかけ、彼<かれ>らはあなたがたの前<まえ>に剣<つるぎ>によって倒<たお>れる。

レビ記 26:8 あなたがたの五人<にん>は百人<にん>を追<お>いかけ、あなたがたの百人<にん>は万人<にん>を追<お>いかけ、あなたがたの敵<てき>はあなたがたの前<まえ>に剣<つるぎ>によって倒<たお>れる。

レビ記 26:9 わたしは、あなたがたを顧<かえり>み、多<おお>くの子<こ>どもを与<あた>え、あなたがたをふやし、あなたがたとのわたしの契<けい>約<やく>を確<たし>かなものにする。

レビ記 26:10 あなたがたは長<なが>くたくわえられた古<ふる>いものを食<た>べ、新<あたら>しいものを前<まえ>にして、古<ふる>いものを運<はこ>び出<だ>す。

レビ記 26:11 わたしはあなたがたの間<あいだ>にわたしの住<す>まいを建<た>てよう。わたしはあなたがたを忌<い>みきらわない。

レビ記 26:12 わたしはあなたがたの間<あいだ>を歩<あゆ>もう。わたしはあなたがたの神<かみ>となり、あなたがたはわたしの民<たみ>となる。

レビ記 26:13 わたしはあなたがたを、奴<ど>隷<れい>の身<み>分<ぶん>から救<すく>い出<だ>すためにエジプトの地<ち>から連<つ>れ出<だ>したあなたがたの神<かみ>、【主<しゅ>】である。わたしはあなたがたのくびきの横<よこ>木<ぎ>を打<う>ち碎<くだ>き、あなたがたをまっすぐに立<た>たせて歩<ある>かせた。

民数記 21:9 モーセは一つの青<せい>銅<どう>の蛇<へび>を作<つく>り、それを旗<はた>ざおの上<うえ>につけた。もし蛇<へび>が人<ひと>をかんでも、その者<もの>が青<せい>銅<どう>の蛇<へび>を仰<あお>ぎ見<み>ると、生<い>きた。

民数記 23:19 神<かみ>は人<にん>間<げん>ではなく、偽<いつわ>りを言<い>うことがない。人<ひと>の子<こ>ではなく、悔<く>いることがない。神<かみ>は言<い>われたことを、なさないだろうか。約<やく>束<そく>されたことを成<な>し遂<と>げられないだろうか。

申命記 5:33 あなたがたの神<かみ>、【主<しゅ>】が命<めい>じられたすべての道<みち>を歩<あゆ>まなければならない。あなたがたが生<い>き、しあわせになり、あなたがたが所<しょ>有<ゆう>する地<ち>で、長<なが>く生<い>きるためである。

申命記 7:14 あなたはすべての国<くに>々<ぐに>の民<たみ>の中<なか>で、最<もっと>も祝<しゅく>福<ふく>された者<もの>となる。あなたのうちには、子<こ>のない男<おとこ>、子<こ>のない女<おんな>はいないであろう。あなたの家<か>畜<ちく>も同<どう>様<よう>である。

申命記 7:15 【主<しゅ>】は、すべての病<びょう>気<き>をあなたから取<と>り除<のぞ>き、あなたの知<し>っているあのエジプトの悪<あく>疫<えき>は、これを一つもあなたにもたらず、あなたを憎<にく>むすべての者<もの>にこれを下<くだ>す。

申命記 11:21 それは、【主<しゅ>】があなたがたの先<せん>祖<ぞ>たちに、与<あた>えると誓<ちか>われた地<ち>で、あなたがたの日<ひ>数<かず>と、あなたがたの子<し>孫<そん>の日<ひ>数<かず>が、天<てん>が地<ち>をおおう日<ひ>数<かず>のように長<なが>くなるためである。

申命記 28:1 もし、あなたが、あなたの神<かみ>、【主<しゅ>】の御<み>声<こえ>によく聞<き>き従<したが>い、私が、きょう、あなたに命<めい>じる主<しゅ>のすべての命<めい>令<れい>を守<まも>り行<おこな>うなら、あなたの神<かみ>、【主<しゅ>】は、地<ち>のすべての国<くに>々<ぐに>の上<うえ>にあなたを高<たか>くあげられよう。

申命記 28:2 あなたがあなたの神<かみ>、【主<しゅ>】の御<み>声<こえ>に聞<き>き従<したが>うので、次<つぎ>のすべての祝<しゅく>福<ふく>があなたに臨<のぞ>み、あなたは祝<しゅく>福<ふく>される。

申命記 28:3 あなたは、町<まち>にあっても祝<しゅく>福<ふく>され、野<の>にあっても祝<しゅく>福<ふく>される。

申命記 28:4 あなたの身<み>から生<う>まれる者<もの>も、地<ち>の産<さん>物<ぶつ>も、家<か>畜<ちく>の産<う>むもの、群<む>れのうちの子<こ>牛<うし>も、群<む>れのうちの雌<め>羊<ひつじ>も祝<しゅく>福<ふく>される。

申命記 28:5 あなたのかごも、こね鉢<ばち>も祝<しゅく>福<ふく>される。

申命記 28:6 あなたは、入<はい>るときも祝<しゅく>福<ふく>され、出<で>て行<い>くときにも祝<しゅく>福<ふく>される。

申命記 28:7 【主<しゅ>】は、あなたに立<た>ち向<む>かって来<く>る敵<てき>を、あなたの前<まえ>で敗<はい>走<そう>させる。彼<かれ>らは、一つの道<みち>からあなたを攻<こう>撃<げき>し、あなたの前<まえ>から七つの道<みち>に逃<に>げ去<さ>ろう。

申命記 28:8 【主<しゅ>】は、あなたのために、あなたの穀<こく>物<もつ>倉<ぐら>とあなたのすべての手<て>のわざを祝<しゅく>福<ふく>して下さることを定<さだ>めておられる。あなたの神<かみ>、【主<しゅ>】があなたに与<あた>えようとしておられる地<ち>で、あなたを祝<しゅく>福<ふく>される。

申命記 28:9 あなたが、あなたの神<かみ>、【主<しゅ>】の命<めい>令<れい>を守<まも>り、主<しゅ>の道<みち>を歩<あゆ>むなら、【主<しゅ>】はあなたに誓<ちか>われたとおり、あなたを、ご自<じ>身<しん>の聖<せい>なる民<たみ>として立<た>てて下さる。

申命記 28:10 地<ち>上<じょう>のすべての国<くに>に<々>く<ぐ>に<々>の民<たみ>は、あなたに【主<しゅ>】の名<な>がつけられているのを見<み>て、あなたを恐<おそ>れよう。

申命記 28:11 【主<しゅ>】が、あなたに与<あた>えるとあなたの先<せん>祖<ぞ>たちに誓<ちか>われたその地<ち>で、【主<しゅ>】は、あなたの身<み>から生<う>まれる者<もの>や家<か>畜<ちく>の産<う>むものや地<ち>の産<さん>物<ぶつ>を、豊<ゆた>かに恵<めぐ>んで下さる。

申命記 28:12 【主<しゅ>】は、その恵<めぐ>みの倉<くら>、天<てん>を開<ひら>き、時<とき>にかなって雨<あめ>をあなたの地<ち>に与<あた>え、あなたのすべての手<て>のわざを祝<しゅく>福<ふく>される。それであなたは多<おほ>くの国<くに>に<々>く<ぐ>に<々>に貸<か>すであるが、借<か>りることはない。

申命記 28:13 私が、きょう、あなたに命<めい>じるあなたの神<かみ>、【主<しゅ>】の命<めい>令<れい>にあなたが聞<き>き従<したが>い、守<まも>り行<おこな>うなら、【主<しゅ>】はあなたをかしらとならせ、尾<お>とはならせない。ただ上<うえ>におらせ、下<した>へは下<くだ>されない。

申命記 28:14 あなたは、私が、きょう、あなたがたに命<めい>じるこのすべてのことばを離<はな>れて右<みぎ>や左<ひだり>にそれ、ほかの神<かみ>々<がみ>に従<したが>い、それに仕<つか>えてはならない。

申命記 30:19 私は、きょう、あなたがたに対<たい>して天<てん>と地<ち>とを、証<しょう>人<にん>に立<た>てる。私は、いのちと死<し>、祝<しゅく>福<ふく>とのろいを、あなたの前<まえ>に置<お>く。あなたはいのちを選<えら>びなさい。あなたもあなたの子<し>孫<そん>も生<い>き、

申命記 30:20 あなたの神<かみ>、【主<しゅ>】を愛<あい>し、御<み>声<こえ>に聞<き>き従<したが>い、主<しゅ>にすぎるためだ。確<たし>かに主<しゅ>はあなたのいのちであり、あなたは【主<しゅ>】が、あなたの先<せん>祖<ぞ>、アブラハム、イサク、ヤコブに与<あた>えると誓<ちか>われた地<ち>で、長<なが>く生<い>きて住<す>む。

ヨシュア記 14:10 今<いま>、ご覧<らん>のとおり、【主<しゅ>】がこのことばをモーセに告<つ>げられた時<とき>からこのかた、イスラエルが荒<あら>野<の>を歩<ある>いた四十五年

<ねん>間<かん>、【主<しゅ>】は約<やく>束<そく>されたとおりに、私を生<い>きなからえさせてくださいました。今<いま>や私は、きょうでもう八十五歳<さい>になります。ヨシュア記 14:11 しかも、モーセが私を遣<つか>わした日<ひ>のように、今<いま>も壮<そう>健<けん>です。私の今<いま>の力<ちから>は、あの時<とき>の力<ちから>と同<どう>様<よう>、戦<せん>争<そう>にも、また日<にち>常<じょう>の出<で>入<い>りにも耐<た>えるのです。

ヨシュア記 21:45 【主<しゅ>】がイスラエルの家<いえ>に約<やく>束<そく>されたすべての良<よ>いことは、一つもたがわず、みな実<じつ>現<げん>した。

2サムエル 24:25 こうしてダビデは、そこに【主<しゅ>】のために祭<さい>壇<だん>を築<き>ず<き>、全<ぜん>焼<しょう>のいけにえと和<わ>解<かい>のいけにえとをささげた。【主<しゅ>】が、この国<くに>の祈<いの>りに心<こころ>を動<うご>かされたので、神<しん>罰<ばつ>はイスラエルに及<およ>ばないようになった。

1列王記 8:37 もし、この地<ち>に、ききんが起<お>こり、疫<えき>病<びょう>や立<た>ち枯<が>れや、黒<くろ>穂<ほ>病<びょう>、いなごや油<あぶら>虫<むし>が発<はっ>生<せい>した場<ば>合<あい>、また、敵<てき>がこの地<ち>の町<まち>々<まち>を攻<せ>め囲<かこ>んだ場<ば>合<あい>、どんなわざわい、どんな病<びょう>気<き>の場<ば>合<あい>にも、

1列王記 8:38 だれでも、あなたの民<たみ>イスラエルがおのおの自<じ>分<ぶん>の心<こころ>の悩<なや>みを知<し>り、この宮<みや>に向<む>かって両<りょう>手<て>を差<さ>し伸<の>べて祈<いの>るとき、どのような祈<いの>り、願<ねが>いも、

1列王記 8:39 あなたご自<じ>身<しん>が、あなたの御<み>住<す>まいの所<ところ>である天<てん>で聞<き>いて、赦<ゆる>し、またかなえてください。ひとりひとりに、そのすべての生<い>き方<かた>にしたがって報<むく>いてください。あなたはその心<こころ>を知<し>っておられます。あなただけがすべての人<ひと>の子<こ>の心<こころ>を知<し>っておられるからです。

1列王記 8:56 「約<やく>束<そく>どおり、ご自<じ>分<ぶん>の民<たみ>イスラエルに安<あん>住<じゅう>の地<ち>をお与<あた>えになった【主<しゅ>】はほむべきかな。しもべモーセを通<とお>して告<つ>げられた良<よ>い約<やく>束<そく>はみな、一つもたがわなかった。

2列王記 20:5 「引<ひ>き返<かえ>して、わたしの民<たみ>の君<くん>主<しゅ>ヒゼキヤに告<つ>げよ。あなたの父<ちち>ダビデの神<かみ>、【主<しゅ>】は、こう仰<おほ>せられる。『わたしはあなたの祈<いの>りを聞<き>いた。あなたの涙<なみだ>も見<み>た。見<み>よ。わたしはあなたをいやす。三<みつ>日<か>目<め>には、あなたは【主<しゅ>】の宮<みや>に上<のぼ>る。

1歴代誌 18:6 ダビデはダマスコのアラムに守<しゅ>備<び>隊<たい>を置<お>いた。アラムはダビデのしもべとなり、みつぎものを納<おさ>める者<もの>となった。こうして【主<しゅ>】は、ダビデの行<い>く先<さき>々<ぎき>で、彼<かれ>に勝<しょう>利<り>を与<あた>えられた。

1 歴代誌 29:28 彼<かれ>は長<ちょう>寿<じゅ>に恵<めぐ>まれ、齡<よわい>も富<とみ>も誉<ほま>れも満<み>ち満<み>ちて死<し>んだ。彼<かれ>の子<こ>ソロモンが代<か>わって王<おう>となった。

2 歴代誌 6:14 言<い>った。「イスラエルの神<かみ>、【主<しゅ>】。天<てん>にも地<ち>にも、あなたのような神<かみ>はほかにありません。あなたは、心<こころ>を尽<つ>くして御<み>前<まえ>に歩<あゆ>むあなたのしもべたちに対<たい>し、契<けい>約<やく>と愛<あい>とを守<まも>られる方<かた>です。

2 歴代誌 16:9 【主<しゅ>】はその御<おん>目<め>をもって、あまねく全<ぜん>地<ち>を見<み>渡<わた>し、その心<こころ>がご自<じ>分<ぶん>と全<まった>く一つになっている人<ひと>々<びと>に御<み>力<ちから>をあらわしてくださるのです。あなたは、このことについて愚<おろ>かなことをしました。今<いま>から、あなたは数<かず>々<かず>の戦<たたか>いに巻<ま>き込<こ>まれます。」

2 歴代誌 30:20 【主<しゅ>】はヒゼキヤの願<ねが>いを聞<き>かれ、民<たみ>をいやされた。

ネヘミヤ 8:10 さらに、ネヘミヤは彼<かれ>らに言<い>った。「行<い>って、上<じょう>等<とう>な肉<にく>を食<た>べ、甘<あま>いぶどう酒<しゅ>を飲<の>みなさい。何<なに>も用<よう>意<い>できなかった者<もの>にはごちそうを贈<おく>ってやりなさい。きょうは、私たちの主<しゅ>のために聖<せい>別<べつ>された日<ひ>である。悲<かな>しんではない。あなたがたの力<ちから>を【主<しゅ>】が喜<よろこ>ばれるからだ。」

ヨブ記 5:26 あなたは長<ちょう>寿<じゅ>を全<まっ>とうして墓<はか>に入<はい>ろう。あたかも麦<むぎ>束<たば>がその時<じ>期<き>に収<おさ>められるように。

ヨブ記 37:23 私たちが見<み>つけることのできない全<ぜん>能<のう>者<しゃ>は、力<ちから>とさばきにすぐれた方<かた>。義<ぎ>に富<とみ>、苦<くる>しめることをしない。

ヨブ記 42:10 ヨブがその友<ゆう>人<じん>たちのために祈<いの>ったとき、【主<しゅ>】はヨブの繁<はん>栄<えい>を元<もと>どおりにされた。【主<しゅ>】はヨブの所<しょ>有<ゆう>物<ぶつ>もすべて二倍<ばい>に増<ま>された。

ヨブ記 42:17 こうしてヨブは老<ろう>年<ねん>を迎<むか>え、長<ちょう>寿<じゅ>を全<まっ>とうして死<し>んだ。

詩篇 23:1 【主<しゅ>】は私の羊<ひつじ>飼<か>い。私は、乏<とぼ>しいことがありません。

詩篇 23:2 主<しゅ>は私を緑<みどり>の牧<まき>場<ば>に伏<ふ>させ、いこいの水<みず>のほとりに伴<ともな>われます。

詩篇 23:3 主<しゅ>は私のたましいを生<い>き返<かえ>らせ、御<み>名<な>のために、私を義<ぎ>の道<みち>に導<みちび>かれます。

詩篇 23:4 たとい、死<し>の陰<かげ>の谷<たに>を歩<ある>くことがあっても、私はわざわざを恐<おそ>れません。あなたが私とともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖<つえ>、それが私の慰<なぐさ>めです。

詩篇 23:5 私の敵<てき>の前<まえ>で、あなたは私のために食<しょく>事<じ>をととのえ、私の頭<あたま>に油<あぶら>をそそいでくださいます。私の杯<さかずき>は、あふれています。

詩篇 23:6 まことに、私のいのちの日<ひ>の限<かぎ>り、いつくしみと恵<めぐ>みとが、私を追<お>って来<く>るでしょう。私は、いつまでも、【主<しゅ>】の家<いえ>に住<す>まいましょう。

詩篇 30:2 私の神<かみ>、【主<しゅ>】よ。私があなたに叫<さけ>び求<もと>めると、あなたは私を、いやされました。

詩篇 34:19 正<ただ>しい者<もの>の悩<なや>みは多<おほ>い。しかし、【主<しゅ>】はそのすべてから彼<かれ>を救<すく>い出<だ>される。

詩篇 41:2 【主<しゅ>】は彼<かれ>を見<み>守<まも>り、彼<かれ>を生<い>きながらえさせ、地<ち>上<じょう>でしあわせな者<もの>とされる。どうか彼<かれ>を敵<てき>の意<い>のままにさせないでください。

詩篇 41:3 【主<しゅ>】は病<やまい>の床<とこ>で彼<かれ>をささえられる。病<や>むときにどうか彼<かれ>を全<まった>くいやして下さるよう。

詩篇 42:11 わがたましいよ。なぜ、おまえはうなだれているのか。なぜ、私の前<まえ>で思<おも>い乱<みだ>れているのか。神<かみ>を待<ま>ち望<のぞ>め。私はなおも神<かみ>をほめたたえる。私の顔<かお>の救<すく>い、私の神<かみ>を。

詩篇 67:2 それは、あなたの道<みち>が地<ち>の上<うえ>に、あなたの御<み>救<すく>いがすべての国<くに>に々<ぐに>の間<あいだ>に知<し>られるためです。

詩篇 91:1 いと高<たか>き方<かた>の隠<かく>れ場<ば>に住<す>む者<もの>は、全<ぜん>能<のう>者<しゃ>の陰<かげ>に宿<やど>る。

詩篇 91:2 私は【主<しゅ>】に申<もう>し上<あ>げよう。「わが避<さ>け所<どころ>、わがとりで、私の信<しん>頼<らい>するわが神<かみ>」と。

詩篇 91:3 主<しゅ>は狩<かりゅう>人<ど>のわなから、恐<おそ>ろしい疫<えき>病<びょう>から、あなたを救<すく>い出<だ>されるからである。

詩篇 91:4 主<しゅ>は、ご自<じ>分<ぶん>の羽<はね>で、あなたをおおわれる。あなたは、その翼<つばさ>の下<した>に身<み>を避<さ>ける。主<しゅ>の真<しん>実<じつ>は、大<おお>盾<たて>であり、とりでである。

詩篇 91:5 あなたは夜<よる>の恐<きょう>怖<ふ>も恐<おそ>れず、昼<ひる>に飛<と>び来<く>る矢<や>も恐<おそ>れない。

詩篇 91:6 また、暗<くら>やみに歩<ある>き回<まわ>る疫<えき>病<びょう>も、真<ま>昼<ひる>に荒<あ>らす滅<ほろ>びをも。

詩篇 91:7 千人<にん>が、あなたのかたわらに、万人<にん>が、あなたの右<みぎ>手<て>に倒<たお>れても、それはあなたには、近<ちか>づかない。

詩篇 91:8 あなたはただ、それを目<め>にし、悪<わる>者<もの>への報<むく>いを見<み>るだけである。

詩篇 91:9 それはあなたが私の避<さ>け所<どころ>である【主<しゅ>】を、いと高<たか>き方<かた>を、あなたの住<す>まいとしたからである。

詩篇 91:10 わざわいは、あなたにふりかからず、えやみも、あなたの天<てん>幕<まく>に近<ちか>づかない。

詩篇 91:11 まことに主<しゅ>は、あなたのために、御<み>使<つか>いたちに命<めい>じて、すべての道<みち>で、あなたを守<まも>るようにされる。

詩篇 91:12 彼<かれ>らは、その手<て>で、あなたをささえ、あなたの足<あし>が石<いし>に打<う>ち当<あ>たることのないようにする。

詩篇 91:13 あなたは、獅<し>子<し>とコブラとを踏<ふ>みつけ、若<わか>獅<じ>子<し>と蛇<へび>とを踏<ふ>みにじろう。

詩篇 91:14 彼<かれ>がわたしを愛<あい>しているから、わたしは彼<かれ>を助<たす>け出<だ>そう。彼<かれ>がわたしの名<な>を知<し>っているから、わたしは彼<かれ>を高<たか>>く上<あ>げよう。

詩篇 91:15 彼<かれ>が、わたしを呼<よ>び求<もと>めれば、わたしは、彼<かれ>に答<こた>>えよう。わたしは苦<くる>しみのときに彼<かれ>とともにいて、彼<かれ>を救<すく>い彼<かれ>に誉<ほま>れを与<あた>えよう。

詩篇 91:16 わたしは、彼<かれ>を長<なが>いいのちで満<み>ち足<た>らせ、わたしの救<すく>いを彼<かれ>に見<み>せよう。

詩篇 92:13 彼<かれ>らは、【主<しゅ>】の家<いえ>に植<う>えられ、私たちの神<かみ>の大<おお>庭<にわ>で栄<さか>えます。

詩篇 92:14 彼<かれ>らは年<とし>老<お>いてもなお、実<み>を实<みの>らせ、みずみずしく、おい茂<しげ>っていきましょう。

詩篇 103:1 わがたましいよ。【主<しゅ>】をほめたたえよ。私のうちにあるすべてのものよ。聖<せい>なる御<み>名<な>をほめたたえよ。

詩篇 103:2 わがたましいよ。【主<しゅ>】をほめたたえよ。主<しゅ>の良<よ>くしてくださったことを何<なに>一つ忘<わす>れるな。

詩篇 103:3 主<しゅ>は、あなたのすべての咎<とが>を赦<ゆる>し、あなたのすべての病<やまい>をいやし、

詩篇 103:13 父<ちち>がその子<こ>をあわれむように、【主<しゅ>】は、ご自<じ>分<ぶん>を恐<おそ>れる者<もの>をあわれまれる。

詩篇 105:37 主<しゅ>は銀<ぎん>と金<きん>を持<も>たせて御<み>民<たみ>を連<つ>れ出<だ>された。その部<ぶ>族<ぞく>の中<なか>でよろける者<もの>はひとりもなかった。

詩篇 107:19 この苦<くる>しみのときに、彼<かれ>らが【主<しゅ>】に向<む>かって叫<さけ>ぶと、主<しゅ>は彼<かれ>らを苦<く>悩<のう>から救<すく>われた。

詩篇 107:20 主<しゅ>はみことばを送<おく>って彼<かれ>らをいやし、その滅<ほろ>びの穴<あな>から彼<かれ>らを助<たす>け出<だ>された。

詩篇 107:21 彼<かれ>らは、主<しゅ>の恵<めぐ>みと、人<ひと>の子<こ>らへの奇<く>しいわざを【主<しゅ>】に感<かん>謝<しゃ>せよ。

詩篇 118:17 私は死<し>ぬことなく、かえって生<い>き、そして【主<しゅ>】のみわざを語<かた>り告<つ>げよう。

詩篇 145:8 【主<しゅ>】は情<なさ>け深<ぶか>く、あわれみ深<ぶか>く、怒<いか>るのにおそく、恵<めぐ>みに富<と>んでおられます。

詩篇 145:9 【主<しゅ>】はすべてのものについてしみ深<ふか>く、そのあわれみは、造<つく>られたすべてのものの上<うえ>にあります。

箴言 3:1 わが子<こ>よ。私のおしえを忘<わす>れるな。私の命<めい>令<れい>を心<こころ>に留<と>めよ。

箴言 3:2 そうすれば、あなたに長<なが>い日<ひ>と、いのちの年<とし>と平<へい>安<あん>が増<ま>し加<くわ>えられる。

箴言 4:20 わが子<こ>よ。私のことばをよく聞<き>け。私の言<い>うことに耳<みみ>を傾<かたむ>けよ。

箴言 4:21 それをあなたの目<め>から離<はな>さず、あなたの心<こころ>のうちに保<たも>て。

箴言 4:22 見<み>いだす者<もの>には、それはいのちとなり、その全<ぜん>身<しん>を健<すこ>やかにする。

箴言 4:23 力<ちから>の限<かぎ>り、見<み>張<は>って、あなたの心<こころ>を見<み>守<まも>れ。いのちの泉<いずみ>はこれからわく。

箴言 4:24 偽<いつわ>りを言<い>う口<くち>をあなたから取<と>り除<のぞ>き、曲<ま>がったことを言<い>うくちびるをあなたから切<き>り離<はな>せ。

箴言 9:11 わたしによって、あなたの日<ひ>は多<おお>くなり、あなたのいのちの年<とし>は増<ま>すからだ。

箴言 10:11 正<ただ>しい者<もの>の口<くち>はいのちの泉<いずみ>。悪<わる>者<もの>の口<くち>は暴<ぼう>虐<ぎゃく>を隠<かく>す。

箴言 13:3 自<じ>分<ぶん>の口<くち>を見<み>張<は>る者<もの>は自<じ>分<ぶん>のいのちを守<まも>り、くちびるを大<おお>きく開<ひら>く者<もの>には滅<ほろ>びが来<く>る。

箴言 15:4 穏<おだ>やかな舌<した>はいのちの木<き>。偽<いつわ>りの舌<した>はたましいの破<は>滅<めつ>。

箴言 18:14 人<ひと>の心<こころ>は病<びょう>苦<く>をも忍<しの>ぶ。しかし、ひしがれた心<こころ>にだれが耐<た>えるだろうか。

箴言 18:21 死<し>と生<せい>は舌<した>に支<し>配<はい>される。どちらかを愛<あい>して、人<ひと>はその実<み>を食<た>べる。

伝道者の書 7:17 悪<わる>すぎてもいけない。愚<おろ>かすぎてもいけない。自<じ>分<ぶん>の時<とき>が来<こ>ないのに、なぜ死<し>のうとするのか。

イザヤ 40:28 あなたは知<し>らないのか。聞<き>いていないのか。【主<しゅ>】は永<えい>遠<えん>の神<かみ>、地<ち>の果<は>てまで創<そう>造<ぞう>された方<かた>。疲<つか>れることなく、たゆむことなく、その英<えい>知<ち>は測<はか>り知<し>れない。

イザヤ 40:29 疲<つか>れた者<もの>には力<ちから>を与<あた>え、精<せい>力<りょく>のない者<もの>には活<か>っ気<き>をつける。

イザヤ 40:30 若<わか>者<もの>も疲<つか>れ、たゆみ、若<わか>い男<おとこ>もつまずき倒<たお>れる。

イザヤ 40:31 しかし、【主<しゅ>】を待<ま>ち望<のぞ>む者<もの>は新<あた>らしく力<ちから>を得<え>、驚<わし>のように翼<つばさ>をかって上<のぼ>ることができる。走<はし>ってもたゆまず、歩<ある>いても疲<つか>れない。

イザヤ 41:10 恐<おそ>れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神<かみ>だから。わたしはあなたを強<つよ>め、あなたを助<たす>け、わたしの義<ぎ>の右<みぎ>の手<て>で、あなたを守<まも>る。

イザヤ 53:4 まことに、彼<かれ>は私たちの病<やまい>を負<お>い、私たちの痛<いた>みになった。だが、私たちは思<おも>った。彼<かれ>は罰<ばつ>せられ、神<かみ>に打<う>たれ、苦<くる>しめられたのだと。

イザヤ 53:5 しかし、彼<かれ>は、私たちのそむきの罪<つみ>のために刺<さ>し通<とお>され、私たちの咎<とが>のために碎<くだ>かれた。彼<かれ>への懲<こ>らしめが私たちに平<へい>安<あん>をもたらし、彼<かれ>の打<う>ち傷<きず>によって、私たちはいやされた。

イザヤ 55:8 「わたしの思<おも>いは、あなたがたの思<おも>いと異<こと>なり、わたしの道<みち>は、あなたがたの道<みち>と異<こと>なるからだ。--【主<しゅ>】の御<み>告<つ>げ--

イザヤ 55:9 天<てん>が地<ち>よりも高<たか>いように、わたしの道<みち>は、あなたがたの道<みち>よりも高<たか>く、わたしの思<おも>いは、あなたがたの思<おも>いよりも高<たか>い。

イザヤ 55:10 雨<あめ>や雪<ゆき>が天<てん>から降<ふ>ってもとに戻<もど>らず、必<かなら>ず地<ち>を潤<うるお>し、それに物<もの>を生<は>えさせ、芽<め>を出<だ>させ、種<たね>蒔<ま>く者<もの>には種<たね>を与<あた>え、食<た>べる者<もの>にはパンを与<あた>える。

イザヤ 55:11 そのように、わたしの口<くち>から出<で>るわたしのことばも、むなしく、わたしのところに帰<かえ>っては来<こ>ない。必<かなら>ず、わたしの望<のぞ>む事<こと>を成<な>し遂<と>げ、わたしの言<い>い送<おく>った事<こと>を成<せい>功<こう>させる。

イザヤ 58:8 そのとき、暁<あかつき>のようにあなたの光<ひかり>がさしいで、あなたの傷<きず>はすみやかにいやされる。あなたの義<ぎ>はあなたの前<まえ>に進<すす>み、【主<しゅ>】の栄<えい>光<こう>が、あなたのしんがりとなられる。

イザヤ 65:22 彼<かれ>らが建<た>てて他<た>人<にん>が住<す>むことはなく、彼<かれ>らが植<う>えて他<た>人<にん>が食<た>べることはない。わたしの民<たみ>の寿<じゅ>命<みょう>は、木<き>の寿<じゅ>命<みょう>に等<ひと>しく、わたしの選<えら>んだ者<もの>は、自<じ>分<ぶん>の手<て>で作<つく>った物<もの>を存<ぞん>分<ぶん>に用<もち>いることができるからだ。

イザヤ 65:23 彼<かれ>らはむだに勞<ろう>することもなく、子<こ>を産<う>んで、突<とつ>然<ぜん>その子<こ>が死<し>ぬこともない。彼<かれ>らは【主<しゅ>】に祝<しゅく>

福<ふく>された者<もの>のすえであり、その子<し>孫<そん>たちは彼<かれ>らとともにいるからだ。

イザヤ 65:24 彼<かれ>らが呼<よ>ばないうちに、わたしは答<こた>え、彼<かれ>らがまだ語<かた>っているうちに、わたしは聞<き>く。

エレミヤ 1:12 すると【主<しゅ>】は私に仰<おお>せられた。「よく見<み>たものだ。わたしのことばを実<じつ>現<げん>しようと、わたしは見<み>張<は>っているからだ。」

エレミヤ 30:17 わたしがあなたの傷<きず>を直<なお>し、あなたの打<う>ち傷<きず>をいやすからだ。--【主<しゅ>】の御<み>告<つ>げ--あなたが、捨<す>てられた女<おんな>、だれも尋<たず>ねて来<こ>ないシオン、と呼<よ>ばれたからだ。」

エレミヤ 32:27 「見<み>よ。わたしは、すべての肉<にく>なる者<もの>の神<かみ>、【主<しゅ>】である。わたしにとってできないことが一つでもあろうか。」

エレミヤ 33:6 見<み>よ。わたしはこの町<まち>の傷<きず>をいやして直<なお>し、彼<かれ>らをやして彼<かれ>らに平<へい>安<あん>と真<しん>実<じつ>を豊<ゆた>かに示<しめ>す。

哀歌 3:22 私たちが滅<ほろ>びうせなかったのは、【主<しゅ>】の恵<めぐ>みによる。主<しゅ>のあわれみは尽<つ>きないからだ。

哀歌 3:23 それは朝<あさ>ごとに新<あたら>しい。「あなたの真<しん>実<じつ>は力<ちから>強<つよ>い

ホセア 11:3 それでも、わたしはエフライムに歩<ある>くことを教<おし>え、彼<かれ>らを腕<うで>に抱<だ>いた。しかし、彼<かれ>らはわたしがいやしたのを知<し>らなかった。

ホセア 13:14 わたしはよみの力<ちから>から、彼<かれ>らを解<と>き放<はな>ち、彼<かれ>らを死<し>から贖<あがな>おう。死<し>よ。おまえのとげはどこにあるのか。よみよ。おまえの針<はり>はどこにあるのか。あわれみはわたしの目<め>から隠<かく>されている。

ヨエル 3:10 あなたがたの鋤<すき>を剣<つるぎ>に、あなたがたのかまを槍<やり>に、打<う>ち直<なお>せ。弱<よわ>い者<もの>に「私は勇<ゆう>士<し>だ」と言<い>わせよ。

アモス 5:4 まことに【主<しゅ>】は、イスラエルの家<いえ>にこう仰<おお>せられる。「わたしを求<もと>めて生<い>きよ。

ナホム 1:9 あなたがたは【主<しゅ>】に対<たい>して何<なに>をたくらむのか。主<しゅ>はすべてを滅<ほろ>ぼし尽<つ>くす。仇<あだ>は二度<ど>と立<た>ち上<あ>がれない

ハバクク 3:18 しかし、私は【主<しゅ>】にあって喜<よろこ>び勇<いさ>み、私の救<すく>いの神<かみ>にあって喜<よろこ>ぼう。

ハバクク 3:19 私の主<しゅ>、神<かみ>は、私の力<ちから>。私の足<あし>を雌<め>鹿<じか>のようにし、私に高<たか>い所<ところ>を歩<あゆ>ませる。指<し>揮<き>者<しゃ>のために。弦<げん>楽<がっ>器<き>に合<あ>わせて。

ハガイ 2:4 しかし、ゼルバベルよ、今<いま>、強<つよ>くあれ。--【主<しゅ>】の御<み>告<つ>げ--エホツァダクの子<こ>、大<だい>祭<さい>司<し>ヨシュアよ。強<つよ>くあれ。この国<くに>のすべての民<たみ>よ。強<つよ>くあれ。--【主<しゅ>】の御<み>告<つ>げ--仕<し>事<ごと>に取<と>りかかれ。わたしがあなたがたとともにいるからだ。--万<ばん>軍<ぐん>の【主<しゅ>】の御<み>告<つ>げ--

マラキ 3:6 【主<しゅ>】であるわたしは変<か>わることがない。ヤコブの子<こ>らよ。あなたがたは、滅<ほろ>ぼし尽<つ>くされない。

マラキ 4:2 しかし、わたしの名<な>を恐<おそ>れるあなたがたには、義<ぎ>の太<たい>陽<よう>が上<のぼ>り、その翼<つばさ>には、いやしがある。あなたがたは外<そと>に出<で>て、牛<ぎゅう>舎<しゃ>の子<こ>牛<うし>のようにはね回<まわ>る。

マタイ 4:23 イエスはガリラヤ全<ぜん>土<ど>を巡<めぐ>って、会<かい>堂<どう>で教<おし>え、御<み>国<くに>の福<ふく>音<いん>を宣<の>べ伝<つた>え、民<たみ>の中<なか>のあらゆる病<びょう>気<き>、あらゆるわずらいを直<なお>された。

マタイ 4:24 イエスのうわさはシリヤ全<ぜん>体<たい>に広<ひろ>まった。それで人<ひと>々<びと>は、さまざまな病<びょう>気<き>や痛<いた>みに苦<くる>しむ病<びょう>人<にん>、悪<あく>霊<れい>につかれた人<ひと>、てんかんの人<ひと>、中<ちゅう>風<ふう>ぶの人<ひと>などをみな、みもとに連<つ>れて来<き>た。イエスは彼<かれ>らをいやされた。

マタイ 8:2 すると、ツアラアトに冒<おか>された人<ひと>がみもとに来<き>て、ひれ伏<ふ>して言<い>った。「主<しゅ>よ。お心<こころ>一つで、私をきよくしていただけます。」

マタイ 8:3 イエスは手<て>を伸<の>ばして、彼<かれ>にさわり、「わたしの心<こころ>だ。きよくなれ」と言<い>われた。すると、すぐに彼<かれ>のツアラアトはきよめられた。

マタイ 8:5 イエスがカペナウムに入<はい>られると、ひとりの百<ひゃく>人<にん>隊<たい>長<ちょう>がみもとに来<き>て、懇<こん>願<がん>して、

マタイ 8:6 言<い>った。「主<しゅ>よ。私のしもべが中<ちゅう>風<ふう>ぶで、家<いえ>に寝<ね>ていて、ひどく苦<くる>んでいます。」

マタイ 8:7 イエスは彼<かれ>に言<い>われた。「行<い>って、直<なお>してあげよう。」

マタイ 8:8 しかし、百<ひゃく>人<にん>隊<たい>長<ちょう>は答<こた>えて言<い>った。「主<しゅ>よ。あなたを私の屋<や>根<ね>の下<した>にお入<い>れする資<し>格<かく>は、私にはありません。ただ、おことばを下<くだ>さい。そうすれば、私のしもべは直<なお>ります。」

マタイ 8:9 と申<もう>しますのは、私も権<けん>威<い>の下<した>にある者<もの>ですが、私自<じ>身<しん>の下<した>にも兵<へい>士<し>たちがいまして、そのひとりに『行<い>け』と言<い>えば行<い>きますし、別<べつ>の者<もの>に『来<こ>い』と言<い>えば来<き>ます。また、しもべに『これをせよ』と言<い>えば、そのとおりにいたします。」

マタイ 8:10 イエスは、これを聞<き>いて驚<おどろ>かれ、ついて来<き>た人<ひと>たちにこう言<い>われた。「まことに、あなたがたに告<つ>げます。わたしはイスラエルのうちのだれにも、このような信<しん>仰<こう>を見<み>たことがありません。」

マタイ 8:13 それから、イエスは百<ひゃく>人<にん>隊<たい>長<ちょう>に言<い>われた。「さあ行<い>きなさい。あなたの信<しん>じたとおりになるように。」すると、ちょうどその時<とき>、そのしもべはいやされた。

マタイ 8:14 それから、イエスは、ペテロの家<いえ>に来<こ>られて、ペテロのしゅうとめが熱<ねつ>病<びょう>で床<とこ>に着<つ>ているのをご覧<らん>になった。

マタイ 8:15 イエスが手<て>にさわられると、熱<ねつ>がひき、彼<かの>女<じょ>は起<お>きてイエスをもてなした。

マタイ 8:16 夕<ゆう>方<がた>になると、人<ひと>々<びと>は悪<あく>霊<れい>につかれた者<もの>を大<おお>ぜい、みもとに連<つ>れて来<き>た。そこで、イエスはみことばをもって霊<れい>どもを追<お>い出<だ>し、また病<びょう>気<き>の人<ひと>々<びと>をみないやされた。

マタイ 8:17 これは、預<よ>言<げん>者<しゃ>イザヤを通<とお>して言<い>われた事<こと>が成<じょう>就<じゅ>するためであった。「彼<かれ>が私たちのわずらいを身<み>に引<ひ>き受<う>け、私たちの病<やまい>を背<せ>負<お>った。」

マタイ 9:18 イエスがこれらのことを話<はな>しておられると、見<み>よ、ひとりの会<かい>堂<どう>管<かん>理<り>者<しゃ>が来<き>て、ひれ伏<ふ>して言<い>った。「私の娘<むすめ>がいま死<し>にました。でも、おいでくださって、娘<むすめ>の上<うえ>に御<み>手<て>を置<お>いてやってください。そうすれば娘<むすめ>は生<い>き返<かえ>ります。」

マタイ 9:19 イエスが立<た>って彼<かれ>について行<い>かれると、弟<で>子<し>たちもついて行<い>った。

マタイ 9:20 すると、見<み>よ。十二年<ねん>の間<あいだ>長<なが>血<ち>をわずらっている女<おんな>が、イエスのうしろに来<き>て、その着<き>物<もの>のふさにさわった。

マタイ 9:21 「お着<き>物<もの>にさわることでもできれば、きっと直<なお>る」と心<こころ>のうちで考<かん>がえていたからである。

マタイ 9:22 イエスは、振<ふ>り向<む>いて彼<かの>女<じょ>を見<み>て言<い>われた。「娘<むすめ>よ。しっかりしなさい。あなたの信<しん>仰<こう>があなたを直<なお>したのです。」すると、女<おんな>はその時<とき>から全<まった>く直<なお>った。

マタイ 9:23 イエスはその管<かん>理<り>者<しゃ>の家<いえ>に来<こ>られて、笛<ふえ>吹<ふ>く者<もの>たちや騒<さわ>いでいる群<ぐん>衆<しゅう>を見<み>て、マタイ 9:24 言<い>われた。「あちらに行<い>きなさい。その子<こ>は死<し>んだのではない。眠<ねむ>っているのです。」すると、彼<かれ>らはイエスをあざ笑<わら>った。

マタイ 9:25 イエスは群<ぐん>衆<しゅう>を外<そと>に出<だ>してから、うちにお入<はい>りになり、少<しょう>女<じょ>の手<て>を取<と>られた。すると少<しょう>女<じょ>は起<お>き上<あ>がった。

マタイ 9:26 このうわさはその地<ち>方<ほう>全<ぜん>体<たい>に広<ひろ>まった。

マタイ 9:27 イエスがそこを出<で>て、道<みち>を通<とお>って行<い>かれると、ふたりの盲<もう>人<じん>が大<おお>声<こゑ>で、「ダビデの子<こ>よ。私たちをあわれんでください」と叫<さけ>びながらついて来<き>た。

マタイ 9:28 家<いえ>に入<はい>られると、その盲<もう>人<じん>たちはみもとにやって来<き>た。イエスが「わたしにそんなことができるかと信<しん>じるのか」と言<い>われると、彼<かれ>らは「そうです。主<しゅ>よ」と言<い>った。

マタイ 9:29 そこで、イエスは彼<かれ>らの目<め>にさわって、「あなたがたの信<しん>仰<こう>のとおりになれ」と言<い>われた。

マタイ 9:35 それから、イエスは、すべての町<まち>や村<むら>を巡<めぐ>って、会<かい>堂<どう>で教<おし>え、御<み>国<くに>の福<ふく>音<いん>を宣<の>べ伝<つた>え、あらゆる病<びょう>気<き>、あらゆるわずらいをいやされた。

マタイ 11:28 すべて、疲<つか>れた人<ひと>、重<おも>荷<に>を負<お>っている人<ひと>は、わたしのところに来<き>なさい。わたしがあなたがたを休<やす>ませてあげます。

マタイ 11:29 わたしは心<こころ>優<やさ>しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負<お>って、わたしから学<まな>びなさい。そうすればたましいに安<やす>らぎが来<き>ます。

マタイ 11:30 わたしのくびきは負<お>いやすく、わたしの荷<に>は軽<かる>いからです。」

マタイ 12:9 イエスはそこを去<さ>って、会<かい>堂<どう>に入<はい>られた。

マタイ 12:10 そこに片<かた>手<て>のなえた人<ひと>がいた。そこで彼<かれ>らはイエスに質<しつ>問<もん>して「安<あん>息<そく>日<にち>にいやすのは正<ただ>しいことでしょうか」と言<い>った。イエスを訴<うた>えるためであった。

マタイ 12:11 イエスは彼<かれ>らに言<い>われた。「あなたがたのうち、だれかが一匹<びき>の羊<ひつじ>を持<も>っていて、もしその羊<ひつじ>が安<あん>息<そく>日<にち>に穴<あな>に落<お>ちたら、それを引<ひ>き上<あ>げてやらないでしょうか。

マタイ 12:12 人<にん>間<げん>は羊<ひつじ>より、はるかに値<ね>うちのあるものでしょう。それなら、安<あん>息<そく>日<にち>に良<よ>いことをすることは、正<ただ>しいのです。」

マタイ 12:13 それから、イエスはその人<ひと>に、「手<て>を伸<の>ばしなさい」と言<い>われた。彼<かれ>が手<て>を伸<の>ばすと、手<て>は直<なお>って、もう一<いっ>方<ぼう>の手<て>と同<おな>じようになった。

マタイ 12:15 イエスはそれを知<し>って、そこを立<た>ち去<さ>られた。すると多<おお>くの人<ひと>がついて来<き>たので、彼<かれ>らをみないやし、

マタイ 12:22 そのとき、悪<あく>霊<れい>につかれて、目<め>も見<み>えず、口<くち>もきけない人<ひと>が連<つ>れて来<こ>られた。イエスが彼<かれ>をいやされたので、その人<ひと>はものを言<い>い、目<め>も見<み>えるようになった。

マタイ 14:13 イエスはこのことを聞<き>かれると、舟<ふね>でそこを去<さ>り、自<じ>分<ぶん>だけで寂<さび>しい所<ところ>に行<い>かれた。すると、群<ぐん>衆<しゅう>がそれと聞<き>いて、町<まち>々<まち>から、歩<ある>いてイエスのあとを追<お>った。

マタイ 14:14 イエスは舟<ふね>から上<あ>がると、多<おお>くの群<ぐん>衆<しゅう>を見<み>、彼<かれ>らを深<ふか>くあわれんで、彼<かれ>らの病<びょう>気<き>をいやされた。

マタイ 14:34 彼<かれ>らは湖<みずうみ>を渡<わた>ってゲネサレの地<ち>に着<つ>いた。

マタイ 14:35 すると、その地<ち>の人<ひと>々<びと>は、イエスと気<き>がついて、付<つ>近<きん>の地<ち>域<いき>にくまなく知<し>らせ、病<びょう>人<にん>という病<びょう>人<にん>をみな、みもとに連<つ>れて来<き>た。

マタイ 14:36 そして、せめて彼<かれ>らに、着<き>物<もの>のふさにでもさわらせてやったださいと、イエスにお願<ねが>いした。そして、さわった人<ひと>々<びと>はみな、いやされた。

マタイ 15:29 それから、イエスはそこを去<さ>って、ガリラヤ湖<こ>の岸<きし>を行<い>き、山<やま>に登<のぼ>って、そこにすわっておられた。

マタイ 15:30 すると大<おお>ぜいの人<ひと>の群<む>れが、足<あし>のなえた者<もの>、手<て>足<あし>の不<ふ>自<じ>由<ゆう>な者<もの>、盲<もう>人<じん>、口<くち>のきけない者<もの>、そのほか多<おお>くの人<ひと>をみもとに連<つ>れて来<き>た。そして彼<かれ>らをイエスの足<あし>もとに置<お>いたので、イエスは彼<かれ>らをいやされた。

マタイ 15:31 それで群<ぐん>衆<しゅう>は、口<くち>のきけない者<もの>がものを言<い>い、手<て>足<あし>の不<ふ>自<じ>由<ゆう>な者<もの>が直<なお>り、足<あし>のなえた者<もの>が歩<ある>き、盲<もう>人<じん>たちが見<み>えるようになるの見<み>て驚<おどろ>いた。そして彼<かれ>らはイスラエルの神<かみ>をあがめた。

マタイ 19:1 イエスはこの話<はなし>を終<お>えると、ガリラヤを去<さ>って、ヨルダンの向<む>こうにあるユダヤ地<ち>方<ほう>に行<い>かれた。

マタイ 19:2 すると、大<おお>ぜいの群<ぐん>衆<しゅう>がついて来<き>たので、そこで彼<かれ>らをいやされた。

マタイ 20:29 彼<かれ>らがエリコを出<で>て行<い>くと、大<おお>ぜいの群<ぐん>衆<しゅう>がイエスについて行<い>った。

マタイ 20:30 すると、道<みち>ばたにすわっていたふたりの盲<もう>人<じん>が、イエスが通<とお>られると聞<き>いて、叫<さけ>んで言<い>った。「主<しゅ>よ。私たちがあわれんでください。ダビデの子<こ>よ。」

マタイ 20:31 そこで、群<ぐん>衆<しゅう>は彼<かれ>らを黙<だま>らせようとして、たしなめたが、彼<かれ>らはますます、「主<しゅ>よ。私たちがあわれんでください。ダビデの子<こ>よ」と叫<さけ>び立<た>てた。

マタイ 20:32 すると、イエスは立<た>ち止<ど>まって、彼<かれ>ら呼<よ>んで言<い>われた。「わたしに何<なに>をしてほしいのか。」

マタイ 20:33 彼<かれ>らはイエスに言<い>った。「主<しゅ>よ。この目<め>をあけていただきたいのです。」

マタイ 20:34 イエスはかわいそうに思<おも>って、彼<かれ>らの目<め>にさわられた。すると、すぐさま彼<かれ>らは見<み>えるようになり、イエスについて行<い>った。

マタイ 21:14 また、宮<みや>の中<なか>で、盲<もう>人<じん>や足<あし>のなえた人<ひと>たちがみもとに来<き>たので、イエスは彼<かれ>らをいやされた。

マタイ 21:18 翌<よく>朝<ちょう>、イエスは都<みやこ>に帰<かえ>る途<と>中<ちゅう>、空<くう>腹<ふく>を覺<おぼ>えられた。

マタイ 21:19 道<みち>ばたにいちじくの木<き>が見<み>えたので、近<ちか>づいて行<い>かされたが、葉<は>のほかは何<なに>もないのに気<き>づかれた。それで、イエスはその木<き>に「おまえの実<み>は、もういつまでも、ならないように」と言<い>われた。すると、たちまちいちじくの木<き>は枯<か>れた。

マタイ 21:20 弟<で>子<し>たちは、これを見<み>て、驚<おどろ>いて言<い>った。「どうして、こうすぐにいちじくの木<き>が枯<か>れたのでしょうか。」

マタイ 21:21 イエスは答<こた>えて言<い>われた。「まことに、あなたがたに告<つ>げます。もし、あなたがたが、信<しん>仰<こう>を持<も>ち、疑<うたが>うことがなければ、いちじくの木<き>になされたようなことができるだけでなく、たとい、この山<やま>に向<む>かって、『動<うご>いて、海<うみ>に入<はい>れ』と言<い>っても、そのとおりになります。

マタイ 21:22 あなたがたが信<しん>じて祈<いの>り求<もと>めるものなら、何<なん>でも与<あた>えられます。」

マルコ 1:40 さて、ツアラアトに冒<おか>された人<ひと>がイエスのみもとにお願<ねが>いに来<き>て、ひざまずいて言<い>った。「お心<こころ>一つで、私をきよくしていただけます。」

マルコ 1:41 イエスは深<ふか>くあわれみ、手<て>を伸<の>ばして、彼<かれ>にさわって言<い>われた。「わたしの心<こころ>だ。きよくなれ。」

マルコ 1:42 すると、すぐに、そのツアラアトが消<き>えて、その人<ひと>はきよくなった。

マルコ 5:21 イエスが舟<ふね>でまた向<む>こう岸<ぎし>へ渡<わた>られると、大<おお>ぜいの人<ひと>の群<む>れがみもとに集<あつ>まった。イエスは岸<きし>べにとどまっておられた。

マルコ 5:22 すると、会<かい>堂<どう>管<かん>理<り>者<しゃ>のひとりでヤイロという者<もの>が来<き>て、イエスを見<み>て、その足<あし>もとにひれ伏<ふ>し、

マルコ 5:23 いっしょうけんめい願<ねが>ってこう言<い>った。「私の小<ちい>さい娘<むすめ>が死<し>にかけています。どうか、おいでくださって、娘<むすめ>の上<うえ>に御<み>手<て>を置<お>いてやってください。娘<むすめ>が直<なお>って、助<たす>かるようにしてください。」

マルコ 5:24 そこで、イエスは彼<かれ>といっしょに出<で>かけられたが、多<おお>くの群<ぐん>衆<しゅう>がイエスについて来<き>て、イエスに押<お>し迫<せま>った。

マルコ 5:25 ところで、十二年<ねん>の間<あいだ>長<なが>血<ち>をわずらっている女<おんな>がいた。

マルコ 5:26 この女<おんな>は多<おお>くの医<い>者<しゃ>からひどいめに会<あ>わされて、自<じ>分<ぶん>の持<も>ち物<もの>をみな使<つか>い果<は>たしてしまっていたが、何<なん>のかいもなく、かえって悪<わる>くなる一<いっ>方<ぼう>であった。

マルコ 5:27 彼<かの>女<じょ>は、イエスのことを耳<みみ>にして、群<ぐん>衆<しゅう>の中<なか>に紛<まぎ>れ込<こ>み、うしろから、イエスの着<き>物<もの>にさわった。

マルコ 5:28 「お着<き>物<もの>にさわることでもできれば、きっと直<なお>る」と考<かん>が<え>ていたからである。

マルコ 5:29 すると、すぐに、血<ち>の源<みなもと>がかれて、ひどい痛<いた>みが直<なお>ったことを、からだに感<かん>じた。

マルコ 5:30 イエスも、すぐに、自<じ>分<ぶん>のうちから力<ちから>が外<そと>に出<で>て行<い>ったことに気<き>づいて、群<ぐん>衆<しゅう>の中<なか>を振<ふ>り向<む>いて、「だれがわたしの着<き>物<もの>にさわったのですか」と言<い>われた。

マルコ 5:31 そこで弟<で>子<し>たちはイエスに言<い>った。「群<ぐん>衆<しゅう>があなたに押<お>し迫<せま>っているのをご覧<らん>になっいて、それでも『だれがわたしにさわったのか』とおっしゃるのですか。」

マルコ 5:32 イエスは、それをした人<ひと>を知<し>ろうとして、見<み>回<まわ>しておられた。

マルコ 5:33 女<おんな>は恐<おそ>れおののき、自<じ>分<ぶん>の身<み>に起<お>こった事<こと>を知<し>り、イエスの前<まえ>に出<で>てひれ伏<ふ>し、イエスに真<しん>実<じつ>を余<あま>すところなく打<う>ち明<あ>けた。

マルコ 5:34 そこで、イエスは彼<かの>女<じょ>にこう言<い>われた。「娘<むすめ>よ。あなたの信<しん>仰<こう>があなたを直<なお>したのです。安<あん>心<しん>して帰<かえ>りなさい。病<びょう>気<き>にかからず、すこやかでいなさい。」

マルコ 5:35 イエスが、まだ話<はな>しておられるときに、会<かい>堂<どう>管<かん>理<り>者<しゃ>の家<いえ>から人<ひと>がやって来<き>て言<い>った。「あなたのお嬢<じょう>さんはなくなりました。なぜ、このうえ先<せん>生<せい>を煩<わづら>わすことがありましよう。」

マルコ 5:36 イエスは、その話<はなし>のことばをそばで聞<き>いて、会<かい>堂<どう>管<かん>理<り>者<しゃ>に言<い>われた。「恐<おそ>れないで、ただ信<しん>じていなさい。」

マルコ 5:37 そして、ペテロとヤコブとヤコブの兄<きょう>弟<だい>ヨハネのほかは、だれも自<じ>分<ぶん>といっしょに行<い>くのをお許<ゆる>しにならなかった。

マルコ 5:38 彼<かれ>らはその会<かい>堂<どう>管<かん>理<り>者<しゃ>の家<いえ>に着<つ>いた。イエスは、人<ひと>々<びと>が、取<と>り乱<みだ>し、大<おお>声<こゑ>で泣<な>いたり、わめいたりしているのをご覧<らん>になり、

マルコ 5:39 中<なか>に入<はい>って、彼<かれ>らにこう言<い>われた。「なぜ取<と>り乱<みだ>して、泣<な>くのですか。子<こ>どもは死<し>んだのではない。眠<ねむ>っているのです。」

マルコ 5:40 人<ひと>々<びと>はイエスをあざ笑<わら>った。しかし、イエスはみんなを外<そと>に出<だ>し、ただその子<こ>どもの父<ちち>と母<はは>、それに自<じ>分<ぶん>の供<とも>の者<もの>たちだけを伴<ともな>って、子<こ>どものいる所<ところ>へ入<はい>って行<い>かれた。

マルコ 5:41 そして、その子<こ>どもの手<て>を取<と>って、「タリタ、クミ」と言<い>われた。(訳<やく>して言<い>えは、「少<しょう>女<じょ>よ。あなたに言<い>う。起<お>きなさい」という意<い>味<み>である。)

マルコ 5:42 すると、少<しょう>女<じょ>はすぐさま起<お>き上<あ>がり、歩<ある>き始<はじ>めた。十二歳<さい>にもなっていたからである。彼<かれ>らはたちまち非<ひ>常<じょう>な驚<おどろ>きに包<つつ>まれた。

マルコ 5:43 イエスは、このことをだれにも知<し>らせないようにと、きびしくお命<めい>じになり、さらに、少<しょう>女<じょ>に食<しょく>事<じ>をさせるように言<い>われた。

マルコ 6:5 それで、そこでは何<sup>くな</sup>に一つ力<sup>ちから</sup>があるわざを行<sup>こな</sup>うことができず、少<sup>しょう</sup>数<sup>すう</sup>の病<sup>びょう</sup>人<sup>にん</sup>に手<sup>て</sup>を置<sup>お</sup>いていやされただけであった。

マルコ 6:6 イエスは彼<sup>かれ</sup>らの不<sup>ふ</sup>信<sup>しん</sup>仰<sup>こう</sup>に驚<sup>おどろ</sup>かれた。それからイエスは、近<sup>ちか</sup>くの村<sup>むら</sup>々<sup>むら</sup>を教<sup>おし</sup>えて回<sup>まわ</sup>られた。

マルコ 6:7 また、十二弟<sup>で</sup>子<sup>し</sup>を呼<sup>よ</sup>び、ふたりずつ遣<sup>つか</sup>わし始<sup>はじ</sup>め、彼<sup>かれ</sup>らに汚<sup>けが</sup>れた霊<sup>れい</sup>を追<sup>お</sup>い出<sup>だ</sup>す権<sup>けん</sup>威<sup>い</sup>をお与<sup>あた</sup>えになった。

マルコ 6:12 こうして十二人<sup>にん</sup>が出<sup>で</sup>て行<sup>い</sup>き、悔<sup>く</sup>い改<sup>あらた</sup>めを説<sup>と</sup>き広<sup>ひろ</sup>め、

マルコ 6:13 悪<sup>あく</sup>霊<sup>れい</sup>を多<sup>おほ</sup>く追<sup>お</sup>い出<sup>だ</sup>し、大<sup>おほ</sup>ぜいの病<sup>びょう</sup>人<sup>にん</sup>に油<sup>あぶら</sup>を塗<sup>ぬ</sup>っていやした。

マルコ 6:53 彼<sup>かれ</sup>らは湖<sup>みずうみ</sup>を渡<sup>わた</sup>って、ゲネサレの地<sup>ち</sup>に着<sup>つ</sup>き、舟<sup>ふね</sup>をつないだ。

マルコ 6:54 そして、彼<sup>かれ</sup>らが舟<sup>ふね</sup>から上<sup>あ</sup>がると、人<sup>ひと</sup>々<sup>びと</sup>はすぐにイエスだと気<sup>き</sup>がついて、

マルコ 6:55 そのあたりをくまなく走<sup>はし</sup>り回<sup>まわ</sup>り、イエスがおられると聞<sup>き</sup>いた場<sup>ば</sup>所<sup>しょ</sup>へ、病<sup>びょう</sup>人<sup>にん</sup>を床<sup>とこ</sup>に載<sup>の</sup>せて運<sup>はこ</sup>んで来<sup>き</sup>た。

マルコ 6:56 イエスが入<sup>はい</sup>って行<sup>い</sup>かれると、村<sup>むら</sup>でも町<sup>まち</sup>でも部<sup>ぶ</sup>落<sup>らく</sup>でも、人<sup>ひと</sup>々<sup>びと</sup>は病<sup>びょう</sup>人<sup>にん</sup>たちを広<sup>ひろ</sup>場<sup>ば</sup>に寝<sup>ね</sup>かせ、そして、せめて、イエスの着<sup>き</sup>物<sup>もの</sup>の端<sup>はし</sup>にでもさわらせてくださるようにと願<sup>ねが</sup>った。そして、さわった人<sup>ひと</sup>々<sup>びと</sup>はみな、いやされた。

マルコ 7:25 汚<sup>けが</sup>れた霊<sup>れい</sup>につかれた小<sup>ちい</sup>さい娘<sup>むすめ</sup>のいる女<sup>おんな</sup>が、イエスのことを聞<sup>き</sup>つけてすぐにやって来<sup>き</sup>て、その足<sup>あし</sup>もとにひれ伏<sup>ふ</sup>した。

マルコ 7:26 この女<sup>おんな</sup>はギリシヤ人<sup>じん</sup>で、スロ・フェニキヤの生<sup>う</sup>まれであった。そして、自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>の娘<sup>むすめ</sup>から悪<sup>あく</sup>霊<sup>れい</sup>を追<sup>お</sup>い出<sup>だ</sup>してくださるようによにイエスに願<sup>ねが</sup>い続<sup>つづ</sup>けた。

マルコ 7:27 するとイエスは言<sup>い</sup>われた。「まず子<sup>こ</sup>どもたちに満<sup>まん</sup>腹<sup>ぷく</sup>させなければなりません。子<sup>こ</sup>どもたちのパンを取<sup>と</sup>り上<sup>あ</sup>げて、小<sup>こ</sup>犬<sup>いぬ</sup>に投<sup>な</sup>げてやるのはよくないことです。」

マルコ 7:28 しかし、女<sup>おんな</sup>は答<sup>こた</sup>えて言<sup>い</sup>った。「主<sup>しゅ</sup>よ。そのとおりです。でも、食<sup>しょく</sup>卓<sup>たく</sup>の下<sup>した</sup>の小<sup>こ</sup>犬<sup>いぬ</sup>でも、子<sup>こ</sup>どもたちのパンくずをいただきます。」

マルコ 7:29 そこでイエスは言<sup>い</sup>われた。「そうまで言<sup>い</sup>うのですか。それなら家<sup>いえ</sup>にお帰<sup>かえ</sup>りなさい。悪<sup>あく</sup>霊<sup>れい</sup>はあなたの娘<sup>むすめ</sup>から出<sup>で</sup>て行<sup>い</sup>きました。」

マルコ 7:30 女<sup>おんな</sup>が家<sup>いえ</sup>に帰<sup>かえ</sup>ってみると、その子<sup>こ</sup>は床<sup>とこ</sup>の上<sup>う</sup>えに伏<sup>ふ</sup>せっており、悪<sup>あく</sup>霊<sup>れい</sup>はもう出<sup>で</sup>ていた。

マルコ 7:31 それから、イエスはツ口の地<ち>方<ほう>を去<さ>り、シドンを通<とお>って、もう一度<ど>、デカポリス地<ち>方<ほう>のあたりのガリラヤ湖<こ>に来<こ>られた。

マルコ 7:32 人<ひと>々<びと>は、耳<みみ>が聞<き>こえず、口<くち>のきけない人<ひと>を連<つ>れて来<き>て、彼<かれ>の上<うえ>に手<て>を置<お>いてくださるよう、願<ねが>った。

マルコ 7:33 そこで、イエスは、その人<ひと>だけを群<ぐん>衆<しゅう>の中<なか>から連<つ>れ出<だ>し、その両<りょう>耳<みみ>に指<ゆび>を差<さ>し入<い>れ、それからつばきをして、その人<ひと>の舌<した>にさわられた。

マルコ 7:34 そして、天<てん>を見<み>上<あ>げ、深<ふか>く嘆<たん>息<そく>して、その人<ひと>に「エパタ」すなわち、「開<ひら>け」と言<い>われた。

マルコ 7:35 すると彼<かれ>の耳<みみ>が開<ひら>き、舌<した>のもつれもすぐに解<と>け、はっきりと話<はな>せるようになった。

マルコ 7:36 イエスは、このことをだれにも言<い>ってはならない、と命<めい>じられたが、彼<かれ>らは口<くち>止<ど>めされればされるほど、かえって言<い>いふらした。

マルコ 7:37 人<ひと>々<びと>は非<ひ>常<じょう>に驚<おどろ>いて言<い>った。「この方<かた>のなさったことは、みなすばらしい。耳<みみ>の聞<き>こえない者<もの>を聞<き>こえるようにし、口<くち>のきけない者<もの>を話<はな>せるようにされた。」

マルコ 8:22 彼<かれ>らはベツサイダに着<つ>いた。すると人<ひと>々<びと>が盲<もう>人<じん>を連<つ>れて来<き>て、彼<かれ>にさわってくださるよう、イエスに願<ねが>った。

マルコ 8:23 イエスは盲<もう>人<じん>の手<て>を取<と>って村<むら>の外<そと>に連<つ>れて行<い>かれた。そしてその両<りょう>目<め>につばきをつけ、両<りょう>手<て>を彼<かれ>に当<あ>てて「何<なに>か見<み>えるか」と聞<き>かれた。

マルコ 8:24 すると彼<かれ>は、見<み>えるようになって、「人<ひと>が見<み>えます。木<き>のようですが、歩<ある>ているのが見<み>えます」と言<い>った。

マルコ 8:25 それから、イエスはもう一度<ど>彼<かれ>の両<りょう>目<め>に両<りょう>手<て>を当<あ>てられた。そして、彼<かれ>が見<み>つめていると、すっかり直<なお>り、すべてのものがはっきり見<み>えるようになった。

マルコ 9:16 イエスは彼<かれ>らに、「あなたがたは弟<で>子<し>たちと何<なに>を議<ぎ>論<ろん>しているのですか」と聞<き>かれた。

マルコ 9:17 すると群<ぐん>衆<しゅう>のひとりが、イエスに答<こた>えて言<い>った。

「先<せん>生<せい>。口<くち>をきけなくする霊<れい>につかれた私の息<むす>子<こ>を、先<せん>生<せい>のところに連<つ>れて来<き>ました。

マルコ 9:18 その霊<れい>が息<むす>子<こ>にとりつくと、所<ところ>かまわず彼<かれ>を押<お>し倒<たお>します。そして彼<かれ>はあわを吹<ふ>き、齒<は>ぎしりして、からだをこぼらせます。それでお弟<で>子<し>たちに、霊<れい>を追<お>い出<だ>すよう願<ねが>ったのですが、できませんでした。」

マルコ 9:19 イエスは答<こた>えて言<い>われた。「ああ、不<ふ>信<しん>仰<こう>な世<よ>だ。いつまであなたがたといっしょにいななければならないのでしょうか。いつまであなたがたがまんしていなければならないのでしょうか。その子<こ>をわたしのところに連<つ>れて来<き>なさい。」

マルコ 9:20 そこで、人<ひと>々<びと>はイエスのところにその子<こ>を連<つ>れて来<き>た。その子<こ>がイエスを見<み>ると、霊<れい>はすぐに彼<かれ>をひきつけさせたので、彼<かれ>は地<じ>面<めん>に倒<た>おれ、あわを吹<ふ>きながら、ころげ回<まわ>った。

マルコ 9:21 イエスはその子<こ>の父<ちち>親<おや>に尋<たず>ねられた。「この子<こ>がこんなになってから、どのくらいになりますか。」父<ちち>親<おや>は言<い>った。「幼<おさな>い時<とき>からです。

マルコ 9:22 この霊<れい>は、彼<かれ>を滅<ほろ>ぼそうとして、何<なん>度<ど>も火<ひ>の中<なか>や水<みず>の中<なか>に投<な>げ込<こ>みました。ただ、もし、おできになるものなら、私たちをあわれんで、お助<たす>けください。」

マルコ 9:23 するとイエスは言<い>われた。「できるものなら、と言<い>うのか。信<しん>じる者<もの>には、どんなことでもできるのです。」

マルコ 9:24 するとすぐに、その子<こ>の父<ちち>は叫<さけ>んで言<い>った。「信<しん>じます。不<ふ>信<しん>仰<こう>な私をお助<たす>けください。」

マルコ 9:25 イエスは、群<ぐん>衆<しゅう>が駆<か>けつけるのをご覧<らん>になると、汚<けが>れた霊<れい>をしかって言<い>われた。「口<くち>をきけなくし、耳<みみ>を聞<き>こえなくする霊<れい>。わたしがおまえに命<めい>じる。この子<こ>から出<で>て行<い>け。二度<ど>とこの子<こ>に入<はい>るな。」

マルコ 9:26 するとその霊<れい>は、叫<さけ>び声<こゑ>をあげ、その子<こ>を激<はげ>しくひきつけさせて、出<で>て行<い>った。するとその子<こ>が死<し>人<にん>のようになったので、多<おお>くの人<ひと>々<びと>は、「この子<こ>は死<し>んでしまった」と言<い>った。

マルコ 9:27 しかし、イエスは、彼<かれ>の手<て>を取<と>って起<お>こされた。するとその子<こ>は立<た>ち上<あ>がった。

マルコ 9:28 イエスが家<いえ>に入<はい>られると、弟<で>子<し>たちがそっとイエスに尋<たず>ねた。「どうしてでしょう。私たちには追<お>い出<だ>せなかったのですが。」

マルコ 9:29 すると、イエスは言<い>われた。「この種<しゅ>のものは、祈<いの>りによらなければ、何<なに>によっても追<お>い出<だ>せるものではありません。」

マルコ 11:22 イエスは答<こた>えて言<い>われた。「神<かみ>を信<しん>じなさい。

マルコ 11:23 まことに、あなたがたに告<つ>げます。だれでも、この山<やま>に向<む>かって、『動<うご>いて、海<うみ>に入<はい>れ』と言<い>って、心<こころ>の中<なか>で疑<うたが>わず、ただ、自<じ>分<ぶん>の言<い>ったとおりにになると信<しん>じるなら、そのとおりになります。

マルコ 11:24 だからあなたがたに言<い>うのです。祈<いの>って求<もと>めるものは何<なん>でも、すでに受<う>けたと信<しん>じなさい。そうすれば、そのとおりになります。

マルコ 16:15 それから、イエスは彼<かれ>らにこう言<い>われた。「全<ぜん>世<せ>界<かい>に出<で>て行<い>き、すべての造<つく>られた者<もの>に、福<ふく>音<いん>を宣<の>べ伝<つた>えなさい。

マルコ 16:16 信<しん>じてバプテスマを受<う>ける者<もの>は、救<すく>われます。しかし、信<しん>じない者<もの>は罪<つみ>に定<さだ>められます。

マルコ 16:17 信<しん>じる人<ひと>々<びと>には次<つぎ>のようなしるしが伴<ともな>います。すなわち、わたしの名<な>によって悪<あく>霊<れい>を追<お>い出<だ>し、新<あたら>しいことばを語<かた>り、

マルコ 16:18 蛇<へび>をもつかみ、たとい毒<どく>を飲<の>んでも決<けつ>して害<がい>を受<う>けず、また、病<びょう>人<にん>に手<て>を置<お>けば病<びょう>人<にん>はいやされます。」

ルカ 4:16 それから、イエスはご自<じ>分<ぶん>の育<そだ>ったナザレに行<い>き、いつものとおり安<あん>息<そく>日<にち>に会<かい>堂<どう>に入<はい>り、朗<ろう>読<どく>しようとして立<た>たれた。

ルカ 4:17 すると、預<よ>言<げん>者<しゃ>イザヤの書<しょ>が手<て>渡<わた>されたので、その書<しょ>を開<ひら>いて、こう書<か>いてある所<ところ>を見<み>つけられた。

ルカ 4:18 「わたしの上<うえ>に主<しゅ>の御<み>霊<たま>がおられる。主<しゅ>が、貧<まず>しい人<ひと>々<びと>に福<ふく>音<いん>を伝<つた>えるようにと、わたしに油<あぶら>をそそがれたのだから。主<しゅ>はわたしを遣<つか>わされた。捕<と>らわれ人<びと>には赦<しゃ>免<めん>を、盲<もう>人<じん>には目<め>の開<ひら>かれることを告<つ>げるために。しいたげられている人<ひと>々<びと>を自<じ>由<ゆう>にし、

ルカ 4:19 主<しゅ>の恵<めぐ>みの年<とし>を告<つ>げ知<し>らせるために。」

ルカ 4:20 イエスは書<しょ>を巻<ま>き、係<かか>りの者<もの>に渡<わた>してすわられた。会<かい>堂<どう>にいるみなが目<め>がイエスに注<そそ>がれた。

ルカ 4:21 イエスは人<ひと>々<びと>にこう言<い>って話<はな>し始<はじ>められた。

「きょう、聖<せい>書<しょ>のこのみことばが、あなたがたが聞<き>いたとおり実<じつ>現<げん>しました。」

ルカ 4:40 日<ひ>が暮<く>れると、いろいろな病<びょう>気<き>で弱<よわ>っている者<もの>をかかえた人<ひと>たちがみな、その病<びょう>人<にん>をみもとに連<つ>れて来<き>た。イエスは、ひとりひとりに手<て>を置<お>いて、いやされた。

ルカ 5:15 しかし、イエスのうわさは、ますます広<ひろ>まり、多<おお>くの人<ひと>の群<む>れが、話<はなし>を聞<き>きに、また、病<びょう>気<き>を直<なお>してもらいに集<あつ>まって来<き>た。

ルカ 5:17 ある日<ひ>のこと、イエスが教<おし>えておられると、パリサイ人<びと>と律<りつ>法<ぼう>の教<きょう>師<し>たちも、そこにすわっていた。彼<かれ>らは、ガリラヤとユダヤとのすべての村<むら>々<むら>や、エルサレムから来<き>ていた。イエスは、主<しゅ>の御<み>力<ちから>をもって、病<びょう>気<き>を直<なお>しておられた。

ルカ 5:18 するとそこに、男<おとこ>たちが、中<ちゅう>風<ぶ>をわずらっている人<ひと>を、床<とこ>のままで運<はこ>んで来<き>た。そして、何<なん>とかして家<いえ>の中<なか>に運<はこ>び込<こ>み、イエスの前<まえ>に置<お>こうとしていた。

ルカ 5:19 しかし、大<おお>ぜい人<ひと>がいて、どうしても病<びょう>人<にん>を運<はこ>び込<こ>む方<ほう>法<ぼう>が見<み>つからないので、屋<おく>上<じょう>に上<のぼ>って屋<や>根<ね>の瓦<かわら>をはがし、そこから彼<かれ>の寝<ね>床<どこ>を、ちょうど人<ひと>々<びと>の真<ま>ん中<なか>のイエスの前<まえ>に、つり降<お>ろした。

ルカ 5:20 彼<かれ>らの信<しん>仰<こう>を見<み>て、イエスは「友<とも>よ。あなたの罪<つみ>は赦<ゆる>されました」と言<い>われた。

ルカ 5:21 ところが、律<り>法<ぽう>学<がく>者<しゃ>、パリサイ人<びと>たちは、理<り>屈<くつ>を言<い>い始<はじ>めた。「神<かみ>をけがすことを言<い>うこの人<ひと>は、いったい何<なに>者<もの>だ。神<かみ>のほかに、だれが罪<つみ>を赦<ゆる>することができよう。」

ルカ 5:22 その理<り>屈<くつ>を見<み>抜<ぬ>いておられたイエスは、彼<かれ>らに言<い>われた。「なぜ、心<こころ>の中<なか>でそんな理<り>屈<くつ>を言<い>っているのか。

ルカ 5:23 『あなたの罪<つみ>は赦<ゆる>された』と言<い>うのと、『起<お>きて歩<ある>け』と言<い>うのと、どちらがやさしいか。

ルカ 5:24 人<ひと>の子<こ>が地<ち>上<じょう>で罪<つみ>を赦<ゆる>す権<けん>威<い>を持<も>っていることを、あなたがたに悟<さと>らせるために」と言<い>って、中<ちゅう>風<ふう>の人<ひと>に、「あなたに命<めい>じる。起<お>きなさい。寝<ね>床<どこ>をたたんで、家<いえ>に帰<かえ>りなさい」と言<い>われた。

ルカ 5:25 すると彼<かれ>は、たちどころに人<ひと>々<びと>の前<まえ>で立<た>ち上<あ>がり、寝<ね>ていた床<とこ>をたたんで、神<かみ>をあがめながら自<じ>分<ぶん>の家<いえ>に帰<かえ>った。

ルカ 6:6 別<べつ>の安<あん>息<そく>日<にち>に、イエスは会<かい>堂<どう>に入<は>いって教<おし>えておられた。そこに、右<みぎ>手<て>のなえた人<ひと>がいた。

ルカ 6:7 そこで律<り>法<ぽう>学<がく>者<しゃ>、パリサイ人<びと>たちは、イエスが安<あん>息<そく>日<にち>に人<ひと>を直<なお>すかどうか、じっと見<み>ていた。彼<かれ>を訴<うた>える口<こう>実<じつ>を見<み>つけるためであった。

ルカ 6:8 イエスは彼<かれ>らの考<かんが>えをよく知<し>っておられた。それで、手<て>のなえた人<ひと>に、「立<た>って、真<ま>ん中<なか>に出<で>なさい」と言<い>われた。その人<ひと>は、起<お>き上<あ>がって、そこに立<た>った。

ルカ 6:9 イエスは人<ひと>々<びと>に言<い>われた。「あなたがたに聞<き>きますが、安<あん>息<そく>日<にち>にしてよいのは、善<ぜん>を行<おこな>うことなのか、それとも悪<あく>を行<おこな>うことなのか。いのちを救<すく>うことなのか、それとも失<うしな>うことなのか、どうですか。」

ルカ 6:10 そして、みなの方<もの>を見<み>回<まわ>してから、その人<ひと>に、「手<て>を伸<の>ばしなさい」と言<い>われた。そのとおりにすると、彼<かれ>の手<て>は元<もと>どおりになった。

ルカ 6:17 それから、イエスは、彼<かれ>らとともに山<やま>を下<くだ>り、平<たい>らな所<ところ>にお立<た>ちになったが、多<おお>くの弟<で>子<し>たちの群<む>れや、ユダヤ全<ぜん>土<ど>、エルサレム、さてはツロやシドンの海<うみ>べから来<き>た大<おお>ぜいの民<みん>衆<しゅう>がそこにいた。

ルカ 6:18 イエスの教<おし>えを聞<き>き、また病<びょう>気<き>を直<なお>していただくために来<き>た人<ひと>々<びと>である。また、汚<けが>れた霊<れい>に悩<なや>まされていた人<ひと>たちもいやされた。

ルカ 6:19 群<ぐん>衆<しゅう>のだれもが何<なん>とかしてイエスにさわろうとしていた。大<おお>きな力<ちから>がイエスから出<で>て、すべての人<ひと>をいやしたからである。

ルカ 7:11 それから間<ま>もなく、イエスはナインという町<まち>に行<い>かれた。弟<で>子<し>たちと大<おお>ぜいの人<ひと>の群<む>れがいっしょに行<い>った。

ルカ 7:12 イエスが町<まち>の門<もん>に近<ちか>づかれると、やもめとなった母<はは>親<おや>のひとり息<むす>子<こ>が、死<し>んでかつぎ出<だ>されたところであった。町<まち>の人<ひと>たちが大<おお>ぜいその母<はは>親<おや>につき添<そ>っていた。

ルカ 7:13 主<しゅ>はその母<はは>親<おや>を見<み>てかわいそうに思<おも>い、「泣<な>かなくてもよい」と言<い>われた。

ルカ 7:14 そして近<ちか>寄<よ>って棺<かん>に手<て>をかけられると、かついでいた人<ひと>たちが立<た>ち止<ど>まったので、「青<せい>年<ねん>よ。あなたに言<い>う、起<お>きなさい」と言<い>われた。

ルカ 7:15 すると、その死<し>人<にん>が起<お>き上<あ>がって、ものを言<い>い始<は>めたので、イエスは彼<かれ>を母<はは>親<おや>に返<かえ>された。

ルカ 7:16 人<ひと>々<びと>は恐<おそ>れを抱<いだ>き、「大<だい>預<よ>言<げん>者<しゃ>が私たちのうちに現<あらわ>れた」とか、「神<かみ>がその民<たみ>を顧<かえり>みてくださった」などと言<い>って、神<かみ>をあがめた。

ルカ 9:1 イエスは、十二人<にん>を呼<よ>び集<あつ>めて、彼<かれ>らに、すべての悪<あく>霊<れい>を追<お>い出<だ>し、病<びょう>気<き>を直<なお>すための、力<ちから>と権<けん>威<い>とお授<さず>けになった。

ルカ 9:2 それから、神<かみ>の国<くに>を宣<の>べ伝<つた>え、病<びょう>気<き>を直<なお>すために、彼<かれ>らを遣<つか>わされた。

ルカ 9:6 十二人<にん>は出<で>かけて行<い>って、村<むら>から村<むら>へと回<まわ>りながら、至<いた>る所<ところ>で福<ふく>音<いん>を宣<の>べ伝<つた>え、病<びょう>気<き>を直<なお>した。

ルカ 9:11 ところが、多<おお>くの群<ぐん>衆<しゅう>がこれを知<し>って、ついて来<き>た。それで、イエスは喜<よろこ>んで彼<かれ>らを迎<むか>え、神<かみ>の国<くに>のことを話<はな>し、また、いやしの必<ひつ>要<よう>な人<ひと>たちをおいやしになった。

ルカ 10:1 その後<のち>、主<しゅ>は、別<べつ>に七十人<にん>を定<さだ>め、ご自<じ>分<ぶん>が行<い>くつもりすべての町<まち>や村<むら>へ、ふたりずつ先<さき>にお遣<つか>わしになった。

ルカ 10:8 どの町<まち>に入<はい>っても、あなたがたを受<う>け入<い>れてくれたら、出<だ>される物<もの>を食<た>べなさい。

ルカ 10:9 そして、その町<まち>の病<びょう>人<にん>を直<なお>し、彼<かれ>らに、『神<かみ>の国<くに>が、あなたがたに近<ちか>づいた』と言<い>いなさい。

ルカ 13:10 イエスは安<あん>息<そく>日<にち>に、ある会<かい>堂<どう>で教<おし>えておられた。

ルカ 13:11 すると、そこに十八年<ねん>も病<やまい>の霊<れい>につかれ、腰<こし>が曲<ま>がって、全<ぜん>然<ぜん>伸<の>ばすことのできない女<おんな>がいた。

ルカ 13:12 イエスは、その女<おんな>を見<み>て、呼<よ>び寄<よ>せ、「あなたの病<びょう>気<き>はいやされました」と言<い>って、

ルカ 13:13 手<て>を置<お>かれると、女<おんな>はたちどころに腰<こし>が伸<の>びて、神<かみ>をあがめた。

ルカ 13:14 すると、それを見<み>た会<かい>堂<どう>管<かん>理<り>者<しゃ>は、イエスが安<あん>息<そく>日<にち>にいやされたのを憤<いきどお>って、群<ぐん>衆<しゅう>に言<い>った。「働<はたら>いてよい日<ひ>は六<むい>日<か>です。その間<あいだ>に来<き>て直<なお>してもらうがよい。安<あん>息<そく>日<にち>には、いけないのです。」

ルカ 13:15 しかし、主<しゅ>は彼<かれ>に答<こた>えて言<い>われた。「偽<ぎ>善<ぜん>者<しゃ>たち。あなたがたは、安<あん>息<そく>日<にち>に、牛<うし>やろばを小<こ>屋<や>からほどき、水<みず>を飲<の>ませに連<つ>れて行<い>くではありませんか。

ルカ 13:16 この女<おんな>はアブラハムの娘<むすめ>なのです。それを十八年<ねん>もの間<あいだ>サタンが縛<しば>っていたのです。安<あん>息<そく>日<にち>だからといってこの束<そく>縛<ばく>を解<と>いてやってはいけないのですか。」

ルカ 13:17 こう話<はな>されると、反<はん>対<たい>していた者<もの>たちはみな、恥<は>じ入<い>り、群<ぐん>衆<しゅう>はみな、イエスのなされたすべての輝<かがや>かしいみわざを喜<よろこ>んだ

ルカ 17:11 そのころイエスはエルサレムに上<のぼ>られる途<と>中<ちゅう>、サマリヤとガリラヤの境<さかい>を通<とお>られた。

ルカ 17:12 ある村<むら>に入<はい>ると、十人<にん>のツアラアトに冒<おか>された人<ひと>がイエスに出<で>会<あ>った。彼<かれ>らは遠<とお>く離<はな>れた所<ところ>に立<た>って、

ルカ 17:13 声<こえ>を張<は>り上<あ>げて、「イエスさま、先<せん>生<せい>。どうぞあわれんでください」と言<い>った。

ルカ 17:14 イエスはこれを見<み>て言<い>われた。「行<い>きなさい。そして自<じ>分<ぶん>を祭<さい>司<し>に見<み>せなさい。」彼<かれ>らは行<い>く途<と>中<ちゅう>できよめられた。

ルカ 17:15 そのうちのひとは、自<じ>分<ぶん>のいやされたことがわかると、大<おお>声<こえ>で神<かみ>をほめたたえながら引<ひ>き返<かえ>して来<き>て、

ルカ 17:16 イエスの足<あし>もとにひれ伏<ふ>して感<かん>謝<しゃ>した。彼<かれ>はサマリヤ人<じん>であった。

ルカ 17:17 そこでイエスは言<い>われた。「十人<にん>きよめられたのではないか。九人<にん>はどこにいるのか。

ルカ 17:18 神<かみ>をあがめるために戻<もど>って来<き>た者<もの>は、この外<がい>国<こく><こく>人<じん>のほかには、だれもいないのか。」

ルカ 17:19 それからその人<ひと>に言<い>われた。「立<た>ち上<あ>がって、行<い>きなさい。あなたの信<しん>仰<こう>が、あなたを直<なお>したのです。」

ヨハネ 5:1 その後<のち>、ユダヤ人<じん>の祭<まつ>りがあって、イエスはエルサレムに上<のぼ>られた。

ヨハネ 5:2 さて、エルサレムには、羊<ひつじ>の門<もん>の近<ちか>くに、ヘブル語<ご>でベテスタと呼<よ>ばれる池<いけ>があって、五つの回<かい>廊<ろう>がついていた。

ヨハネ 5:3 その中<なか>に大<おお>ぜいの病<びょう>人<にん>、盲<もう>人<じん>、足<あし>のなえた者<もの>、やせ衰<おとろ>えた者<もの>たちが伏<ふ>せていた。

ヨハネ 5:5 そこに、三十八年<ねん>もの間<あいだ>、病<びょう>気<き>にかかっている人<ひと>がいた。

ヨハネ 5:6 イエスは彼<かれ>が伏<ふ>せっているのを見<み>、それがもう長<なが>い間<あいだ>のことなのを知<し>って、彼<かれ>に言<い>われた。「よくなりたいか。」

ヨハネ 5:7 病<びょう>人<にん>は答<こた>えた。「主<しゅ>よ。私には、水<みず>がかき回<まわ>されたとき、池<いけ>の中<なか>に私を入<い>れてくれる人<ひと>がいません。行<い>きかけると、もうほかの人<ひと>が先<さき>に降<お>りて行<い>くのです。」

ヨハネ 5:8 イエスは彼<かれ>に言<い>われた。「起<お>きて、床<とこ>を取<と>り上<あ>げて歩<ある>きなさい。」

ヨハネ 5:9 すると、その人<ひと>はすぐに直<なお>って、床<とこ>を取<と>り上<あ>げて歩<ある>き出<だ>した。ところが、その日<ひ>は安<あん>息<そく>日<にち>であった。

ヨハネ 5:10 そこでユダヤ人<じん>たちは、そのいやされた人<ひと>に言<い>った。「きょうは安<あん>息<そく>日<にち>だ。床<とこ>を取<と>り上<あ>げてはいけない。」

ヨハネ 5:11 しかし、その人<ひと>は彼<かれ>らに答<こた>えた。「私を直<なお>して下さった方<かた>が、『床<とこ>を取<と>り上<あ>げて歩<ある>け』と言<い>われたのです。」

ヨハネ 5:12 彼<かれ>らは尋<たず>ねた。「『取<と>り上<あ>げて歩<ある>け』と言<い>った人<ひと>はだれだ。」

ヨハネ 5:13 しかし、いやされた人<ひと>は、それがだれであるか知<し>らなかった。人<ひと>が大<おお>ぜいそこにいる間<あいだ>に、イエスは立<た>ち去<さ>られたからである。

ヨハネ 5:14 その後<のち>、イエスは宮<みや>の中<なか>で彼<かれ>を見<み>つけて言<い>われた。「見<み>なさい。あなたはよくなった。もう罪<つみ>を犯<おか>してはなりません。そうでないともっと悪<わる>い事<こと>があなたの身<み>に起<お>こるから。」

ヨハネ 9:1 またイエスは道<みち>の途<と>中<ちゅう>で、生<う>まれつきの盲<もう>人<じん>を見<み>られた。

ヨハネ 9:2 弟<で>子<し>たちは彼<かれ>についてイエスに質<しつ>問<もん>して言<い>った。「先<せん>生<せい>。彼<かれ>が盲<もう>目<もく>に生<う>まれついたのは、だれが罪<つみ>を犯<おか>したからですか。この人<ひと>ですか。その両<りょう>親<しん>ですか。」

ヨハネ 9:3 イエスは答<こた>えられた。「この人<ひと>が罪<つみ>を犯<おか>したのでもなく、両<りょう>親<しん>でもありません。神<かみ>のわざがこの人<ひと>に現<あらわ>れるためです。

ヨハネ 9:4 わたしたちは、わたしを遣<つか>わした方<かた>のわざを、昼<ひる>の間<あいだ>に行<おこな>わなければなりません。だれも働<はたら>くことのできない夜<よる>が来<き>ます。

ヨハネ 9:5 わたしが世<よ>にいる間<あいだ>、わたしは世<よ>の光<ひかり>です。」

ヨハネ 9:6 イエスは、こう言<い>ってから、地<じ>面<めん>につばきをして、そのつばきで泥<どろ>を作<つく>られた。そしてその泥<どろ>を盲<もう>人<じん>の目<め>に塗<ぬ>って言<い>われた。

ヨハネ 9:7 「行<い>って、シロアム(訳<やく>して言<い>えば、遣<つか>わされた者<もの>)の池<いけ>で洗<あら>いなさい。」そこで、彼<かれ>は行<い>って、洗<あら>った。すると、見<み>えるようになって、帰<かえ>って行<い>った。

ヨハネ 10:10 盗<ぬす>人<びと>が来<く>るのは、ただ盗<ぬす>んだり、殺<ころ>したり、滅<ほろ>ぼしたりするだけのためです。わたしが来<き>たのは、羊<ひつじ>がいのちを得<え>、またそれを豊<ゆた>かに持<も>つためです。

ヨハネ 14:12 まことに、まことに、あなたがたに告<つ>げます。わたしを信<しん>じる者<もの>は、わたしの行<おこな>うわざを行<おこな>い、またそれよりもさらに大<おお>きなわざを行<おこな>います。わたしが父<ちち>のもとに行<い>くからです。

使徒の働き 3:1 ペテロとヨハネは午<ご>後<ご>三時<じ>の祈<いの>りの時<じ>間<かん>に宮<みや>に上<のぼ>って行<い>った。

使徒の働き 3:2 すると、生<う>まれつき足<あし>のなえた人<ひと>が運<はこ>ばれて来<き>た。この男<おとこ>は、宮<みや>に入<はい>る人<ひと>たちから施<ほどこ>しを求<も>とめるために、毎<まい>日<にち>「美<うつく>しの門<もん>」という名<な>の宮<みや>の門<もん>に置<お>いてもらっていた。

使徒の働き 3:3 彼<かれ>は、ペテロとヨハネが宮<みや>に入<はい>ろうとすることを見<み>て、施<ほどこ>しを求<も>とめた。

使徒の働き 3:4 ペテロは、ヨハネとともに、その男<おとこ>を見<み>つめて、「私たちを見<み>なさい」と言<い>った。

使徒の働き 3:5 男<おとこ>は何<なに>かもらえと思<おも>って、ふたりに目<め>を注<そ>いだ。

使徒の働き 3:6 すると、ペテロは、「金<きん>銀<ぎん>は私にはない。しかし、私にあるものを上<あ>げよう。ナザレのイエス・キリストの名<な>によって、歩<ある>きなさい」と言<い>って、

使徒の働き 3:7 彼<かれ>の右<みぎ>手<て>を取<と>って立<た>たせた。するとたちまち、彼<かれ>の足<あし>とくるぶしが強<つよ>くなり、

使徒の働き 3:8 おどり上<あ>がってまっすぐに立<た>ち、歩<ある>きだした。そして歩<ある>いたり、はねたりしながら、神<かみ>を賛<さん>美<び>しつつ、ふたりといっしょに宮<みや>に入<はい>って行<い>った。

使徒の働き 3:9 人<ひと>々<びと>はみな、彼<かれ>が歩<ある>きながら、神<かみ>を賛<さん>美<び>しているのを見<み>た。

使徒の働き 3:10 そして、これが、施<ほどこ>しを求<も>とめるために宮<みや>の「美<うつく>しの門<もん>」にすわっていた男<おとこ>だとわかると、この人<ひと>の身<み>に起<お>こったことに驚<おどろ>き、あきれた。

使徒の働き 5:12 また、使<し>徒<と>たちの手<て>によって、多<おお>くのしるしと不<ふ>思<し>議<ぎ>なわざが人<ひと>々<びと>の間<あいだ>で行<おこな>われた。みなは一つ心<こころ>になってソロモンの廊<ろう>にいた。

使徒の働き 5:13 ほかの人<ひと>々<びと>は、ひとりもこの交<まじ>わりに加<くわ>わろうとしなかったが、その人<ひと>々<びと>は彼<かれ>らを尊<そん>敬<けい>していた。

使徒の働き 5:14 そればかりか、主<しゅ>を信<しん>じる者<もの>は男<おとこ>も女<おんな>もますますふえていった。

使徒の働き 5:15 ついに、人<ひと>々<びと>は病<びょう>人<にん>を大<おお>通<どお>りへ運<はこ>び出<だ>し、寝<しん>台<だい>や寝<ね>床<どこ>の上<うえ>に寝<ね>

かせ、ペテロが通<とお>りかかるときには、せめてその影<かげ>でも、だれかにかかるようにするようになった。

使徒の働き 5:16 また、エルサレムの付<ふ>近<きん>の町<まち>々<まち>から、大<おお>ぜいの人<ひと>が、病<びょう>人<にん>や、汚<けが>れた霊<れい>に苦<くる>しめられている人<ひと>などを連<つ>れて集<あつ>まって来<き>たが、その全<ぜん>部<ぶ>がいやされた。

使徒の働き 6:8 さて、ステパノは恵<めぐ>みと力<ちから>とに満<み>ち、人<ひと>々<びと>の間<あいだ>で、すばらしい不<ふ>思<し>議<ぎ>なわざとするしを行<おこな>っていた。

使徒の働き 8:5 ピリポはサマリヤの町<まち>に下<くだ>って行<い>き、人<ひと>々<びと>にキリストを宣<の>べ伝<つた>えた。

使徒の働き 8:6 群<ぐん>衆<しゅう>はピリポの話<はなし>を聞<き>き、その行<おこな>っていたしるしを見<み>て、みなそろって、彼<かれ>の語<かた>ることに耳<みみ>を傾<かたむ>けた。

使徒の働き 8:7 汚<けが>れた霊<れい>につかれた多<おお>くの人<ひと>たちからは、その霊<れい>が大<おお>声<ごえ>で叫<さけ>んで出<で>て行<い>くし、多<おお>くの中<ちゅう>風<ぶ>の者<もの>や足<あし>のなえた者<もの>は直<なお>ったからである。

使徒の働き 8:8 それでその町<まち>に大<おお>きな喜<よろこ>びが起<おこ>った。

使徒の働き 9:32 さて、ペテロはあらゆる所<ところ>を巡<じゅん>回<かい>したが、ルダに住<す>む聖<せい>徒<と>たちのところへも下<くだ>って行<い>った。

使徒の働き 9:33 彼<かれ>はそこで、八年<ねん>の間<あいだ>も床<とこ>に着<つ>いているアイネヤという人<ひと>に出<で>会<あ>った。彼<かれ>は中<ちゅう>風<ぶ>であった。

使徒の働き 9:34 ペテロは彼<かれ>にこう言<い>った。「アイネヤ。イエス・キリストがあなたをいやしてくださるのです。立<た>ち上<あ>がりなさい。そして自<じ>分<ぶん>で床<とこ>を整<ととの>えなさい。」すると彼<かれ>はただちに立<た>ち上<あ>がった。

使徒の働き 10:38 それは、ナザレのイエスのことです。神<かみ>はこの方<かた>に聖<せい>霊<れい>と力<ちから>を注<そそ>がれました。このイエスは、神<かみ>がともにおられたので、巡<めぐ>り歩<ある>いて良<よ>いわさをなし、また悪<あく>魔<ま>に制<せい>せられているすべての者<もの>をいやされました。

使徒の働き 14:8 ルステラでのことであるが、ある足<あし>のきかない人<ひと>がすわっていた。彼<かれ>は生<う>まれつき足<あし>のなえた人<ひと>で、歩<ある>いたことがなかった。

使徒の働き 14:9 この人<ひと>がパウロの話<はなし>すことに耳<みみ>を傾<かたむ>けていた。パウロは彼<かれ>に目<め>を留<と>め、いやされる信<しん>仰<こう>があるのを見<み>て、

使徒の働き 14:10 大<おお>声<ごえ>で、「自<じ>分<ぶん>の足<あし>で、まっすぐに立<た>ちなさい」と言<い>った。すると彼<かれ>は飛<と>び上<あ>がって、歩<ある>き出<だ>した。

使徒の働き 19:11 神<かみ>はパウロの手<て>によって驚<おどろ>くべき奇<き>蹟<せき>を行<おこな>われた。

使徒の働き 19:12 パウロの身<み>に着<つ>けている手<て>ぬぐいや前<まえ>掛<か>けをはずして病<びょう>人<にん>に当<あ>てると、その病<びょう>気<き>は去<さ>り、悪<あく>霊<れい>は出<で>て行<い>った。

使徒の働き 28:8 たまたまポプリオの父<ちち>が、熱<ねつ>病<びょう>と下<げ>痢<り>とで床<とこ>に着<つ>いていた。そこでパウロは、その人<ひと>のもとに行<い>き、祈<いの>ってから、彼<かれ>の上<うえ>に手<て>を置<お>いて直<なお>してやった。

使徒の働き 28:9 このことがあってから、島<しま>のほかの病<びょう>人<にん>たちも来<き>て、直<なお>してもらった。

ローマ 8:2 なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御<み>霊<たま>の原<げん>理<り>が、罪<つみ>と死<し>の原<げん>理<り>から、あなたを解<かい>放<ほう>したからです

ローマ 8:11 もしイエスを死<し>者<しゃ>の中<なか>からよみがえらせた方<かた>の御<み>霊<たま>が、あなたがたのうちに住<す>んでおられるなら、キリスト・イエスを死<し>者<しゃ>の中<なか>からよみがえらせた方<かた>は、あなたがたのうちに住<す>んでおられる御<み>霊<たま>によって、あなたがたの死<し>ぬべきからだをも生<い>かしてくださるので

ローマ 8:32 私たちすべてのために、ご自<じ>分<ぶん>の御<み>子<こ>をさえ惜<お>しまわずに死<し>に渡<わた>された方<かた>が、どうして、御<み>子<こ>といっしょにすべてのものを、私たちに恵<めぐ>んでくださらないことがあります。

1 コリント 3:16 あなたがたは神<かみ>の神<しん>殿<でん>であり、神<かみ>の御<み>霊<たま>があなたがたに宿<やど>っておられることを知<し>らないのですか。

1 コリント 11:23 私は主<しゅ>から受<う>けたことを、あなたがたに伝<つた>えたのです。すなわち、主<しゅ>イエスは、渡<わた>される夜<よ>、パンを取<と>り、

1 コリント 11:24 感<かん>謝<しゃ>をささげて後<のち>、それを裂<さ>き、こう言<い>われました。「これはあなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚<おぼ>えて、これを行<おこな>いなさい。」

1 コリント 11:25 タ<ゆう>食<しょく>の後<のち>、杯<さかずき>をも同<おな>じようにして言<い>われました。「この杯<さかずき>は、わたしの血<ち>による新<あたら>しい契<けい>約<やく>です。これを飲<の>むたびに、わたしを覚<おぼ>えて、これを行<おこな>いなさい。」

1 コリント 11:26 ですから、あなたがたは、このパンを食<た>べ、この杯<さかずき>を飲<の>むたびに、主<しゅ>が来<こ>られるまで、主<しゅ>の死<し>を告<つ>げ知<し>らせるのです。

ガラテヤ 3:13 キリストは、私たちのためにのろわれたものとなって、私たちを律<りっ>法<ぼう>ののろいから贖<あがな>い出<だ>してくださいました。なぜなら、「木<き>にかけられる者<もの>はすべてののろわれたものである」と書<か>いてあるからです。

ガラテヤ 3:14 このことは、アブラハムへの祝<しゅく>福<ふく>が、キリスト・イエスによって異<い>邦<ほう>人<じん>に及<およ>ぶためであり、その結<けつ>果<か>、私たちが信<

しん>仰<こう>によって約<やく>束<そく>の御<み>霊<たま>を受<う>けるためなのです。

ガラテヤ 3:29 もしあなたがたがキリストのものであれば、それによってアブラハムの子<し>孫<そん>であり、約<やく>束<そく>による相<そう>続<ぞく>人<にん>なのです。

エペソ 6:1 子<こ>どもたちよ。主<しゅ>にあって両<りょう>親<しん>に従<したが>いなさい。これは正<ただ>しいことだからです。

エペソ 6:2 「あなたの父<ちち>と母<はは>を敬<うやま>え。」これは第<だい>一の戒<いまし>めであり、約<やく>束<そく>を伴<ともな>ったものです。すなわち、

エペソ 6:3 「そうしたら、あなたはしあわせになり、地<ち>上<じょう>で長<なが>生<い>きる」という約<やく>束<そく>です。

エペソ 6:10 終<お>わりに言<い>います。主<しゅ>にあって、その大<たい>能<のう>の力<ちから>によって強<つよ>められなさい。

コロサイ 1:13 神<かみ>は、私たちを暗<くら>やみの圧<あつ>制<せい>から救<すく>い出<だ>して、愛<あい>する御<み>子<こ>のご支<し>配<はい>の中<なか>に移<うつ>してくださいました。

コロサイ 1:14 この御<み>子<こ>のうちにあって、私たちは、贖<あがな>い、すなわち罪<つみ>の赦<ゆる>しを得<え>ています。

1テサロニケ 5:23 平<へい>和<わ>の神<かみ>ご自<じ>身<しん>が、あなたがたを全<ま>ったく聖<せい>なるものとしてくださいますように。主<しゅ>イエス・キリストの来<らい>臨<りん>のとき、責<せ>められるところのないように、あなたがたの霊<れい>、たましい、からだを完<かん>全<ぜん>に守<まも>られますように。

ヘブル 7:24 しかし、キリストは永<えい>遠<えん>に存<そん>在<ざい>されるのであって、変<か>わることのない祭<さい>司<し>の務<つと>めを持<も>っておられます。

ヘブル 7:25 したがって、ご自<じ>分<ぶん>によって神<かみ>に近<ちか>づく人<ひと>々<びと>を、完<かん>全<ぜん>に救<すく>うことができになります。キリストはいつも生<い>きていて、彼<かれ>らのために、とりなしをしておられるからです。

ヘブル 8:6 しかし今<いま>、キリストはさらにすぐれた務<つと>めを得<え>られました。それは彼<かれ>が、さらにすぐれた約<やく>束<そく>に基<もと>づいて制<せい>定<てい>された、さらにすぐれた契<けい>約<やく>の仲<ちゅう>介<かい>者<しゃ>であるからです。

ヘブル 12:12 ですから、弱<よわ>った手<て>と衰<おとろ>えたひざとを、まっすぐにしなさい。

ヘブル 12:13 また、あなたがたの足<あし>のためには、まっすぐな道<みち>を作<つく>りなさい。なえた足<あし>が関<かん>節<せつ>をはずさないため、いやむしろ、いやされるためです。

ヘブル 13:8 イエス・キリストは、きのうもきょうも、いつまでも、同<おな>じです。

ヤコブ 1:17 すべての良<よ>い贈<おく>り物<もの>、また、すべての完<かん>全<ぜん>な賜<たま>物<もの>は上<うえ>から来<く>るのであって、光<ひかり>を造<つく>られた父<ちち>から下<くだ>るのです。父<ちち>には移<うつ>り変<か>わりや、移<うつ>り行<い>く影<かげ>はありません。

ヤコブ 5:14 あなたがたのうちに病<びょう>気<き>の人<ひと>がいますか。その人<ひと>は教<きょう>会<かい>の長<ちょう>老<ろう>たちを招<まね>き、主<しゅ>の御<み>名<な>によって、オリーブ油<ゆ>を塗<ぬ>って祈<いの>ってもらいなさい。

ヤコブ 5:15 信<しん>仰<こう>による祈<いの>りは、病<や>む人<ひと>を回<かい>復<ふく>させます。主<しゅ>はその人<ひと>を立<た>たせてくださいます。また、もしその人<ひと>が罪<つみ>を犯<おか>していたなら、その罪<つみ>は赦<ゆる>されます。

ヤコブ 5:16 ですから、あなたがたは、互<たが>いに罪<つみ>を言<い>い表<あらわ>し、互<たが>いのために祈<いの>りなさい。いやされるためです。義<ぎ>人<じん>の祈<いの>りは働<はたら>くと、大<おお>きな力<ちから>があります。

1 ペテロ 2:24 そして自<じ>分<ぶん>から十<じゅう>字<じ>架<か>の上<うえ>で、私たちの罪<つみ>をその身<み>に負<お>われました。それは、私たちが罪<つみ>を離<はな>れ、義<ぎ>のために生<い>きるためです。キリストの打<う>ち傷<きず>のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。

2 ペテロ 1:2 神<かみ>と私たちの主<しゅ>イエスを知<し>ることによって、恵<めぐ>みと平<へい>安<あん>が、あなたがたの上<うえ>にますます豊<ゆた>かにされますように。

2 ペテロ 1:3 というのは、私たちをご自<じ>身<しん>の栄<えい>光<こう>と徳<とく>によってお召<め>しになった方<かた>を私たちが知<し>ったことによって、主<しゅ>イエスの、神<かみ>としての御<み>力<ちから>は、いのちと敬<けい>虔<けん>に関<かん>するすべてのことを私たちに与<あた>えるからです。

2 ペテロ 1:4 その栄<えい>光<こう>と徳<とく>によって、尊<たつ>い、すばらしい約<やく><>束<そく>が私たちに与<あた>えられました。それは、あなたがたが、その約<やく><>束<そく>のゆえに、世<よ>にある欲<よく>のもたらす滅<ほろ>びを免<まぬか>れ、神<かみ>のご性<せい>質<しつ>にあずかる者<もの>となるためです。

1 ヨハネ 3:8 罪<つみ>を犯<おか>している者<もの>は、悪<あく>魔<ま>から出<で>た者<もの>です。悪<あく>魔<ま>は初<はじ>めから罪<つみ>を犯<おか>しているからです。神<かみ>の子<こ>が現<あらわ>れたのは、悪<あく>魔<ま>のしわざを打<う>ちこわすためです。

1 ヨハネ 5:14 何<なに>事<ごと>でも神<かみ>のみこころにかなう願<ねが>いをするなら、神<かみ>はその願<ねが>いを聞<き>いてくださるといふこと、これこそ神<かみ>に対<たい>する私たちの確<かく>信<しん>です。

1 ヨハネ 5:15 私たちの願<ねが>う事<こと>を神<かみ>が聞<き>いてくださると知<し>れば、神<かみ>に願<ねが>ったその事<こと>は、すでになえられたと知<し>るのです。